

平成22年度

まちづくりアンケート
報告書

平成23年3月



長野市

はじめに

この「まちづくりアンケート」は、市民の皆様のご意見・ご要望をお聴きし、市政に反映させることを目的として、昭和57年度から毎年度実施しております。

この調査から得られた結果を十分精査し、より正確でスピーディーな事務処理、きめ細かな行政サービスに努めるとともに、本市が進むべき方向性を見誤ることなく、将来に向けた確かな道筋をつけるため、全職員一丸となって、一つひとつの施策を着実に進めてまいりたいと考えております。

本市は、「ながの」の魅力を磨き上げ、より鮮明に発信していくため、統一した概念での都市イメージ向上や地域ブランドの確立を目指す「シティプロモーション」の取り組みを始めました。「シティプロモーション」を推進するためには、「ながの」に住み、活動している市民の皆様が、身近な魅力に誇りと愛着を持っていただくことが、最も重要であると考えております。

今後も、市民の皆様が「我がまち」に誇りと愛着を持って生き生きと暮らし、将来の「夢」を共に語り合うことのできる、希望あふれる長野市を目指し、市政運営に全力で取り組んでまいります。

結びに、本アンケートの実施に当たり、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後も市政に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

長野市長 鷺澤 正一

目 次

1. 調査の概要	1
2. 調査分析結果	9
住宅用火災警報器について	10
消防団について	21
観光について	31
茶臼山エリアの活性化について	37
生涯学習について	48
その他身近な生活に関することについて	60
行政施策の満足度	66
行政施策の優先度	74
3. アンケート用紙	79

1. 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市民の要望を把握するとともに、市の事業や施策について市民の意見・考えを調査し、諸施策推進の基本資料とする。

(2) 調査対象

長野市内に在住の20歳以上の男女

(3) 標本の抽出

住民基本台帳（平成22年10月18日現在）からの等間隔無作為抽出

(4) 標本総数

5,100人

(5) 調査方法

返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式

(6) 調査期間

平成22年11月16日（火）から11月30日（火）まで

(7) 回収結果

有効（送達）標本数	5,100通
無効（未送達、返送）標本数	0通
回収標本数	3,426通
回収率	67.2%

(8) 集計方法

電子計算機による集計（委託）

(9) 調査項目

①回答者の属性

- | | |
|----------|--|
| A 地域区分 | 市街地地域、市街地周辺地域、犀南地域、松代・若穂、中山間地域 |
| B 性別区分 | 男性、女性 |
| C 年代区分 | 20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上 |
| D 職業区分 | [自営業主および家族従業員]
農業・林業・漁業、工業、商業・自由業
[会社員、公務員]
会社員（事務系・技術系）、公務員・教員
[その他]
主婦、パート・アルバイト、無職（学生含む）、その他 |
| E 居住年数区分 | 5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上 |

②設問テーマ

●住宅用火災警報器について（消防局 予防課）

長野市火災予防条例により、平成21年6月1日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられた。義務化から1年が経過した現在の設置普及状況と、必要な場所に設置されているかを調査し、今後の住宅防火指導のための資料とする。

●消防団について（消防局 警防課）

市民が消防団に対してどのような意識をもっているか調査し、消防団の認知度向上を図るとともに、団員の減少に歯止めをかけ、入団促進に向けた取り組みの資料とする。

●観光について（産業振興部 観光課）

本市の観光振興に対する市民の意識を調査し、平成24年度に策定予定の「長野市観光振興計画」の参考とする。

●茶臼山エリアの活性化について（都市整備部 公園緑地課）

茶臼山動物園は昨年度の入園者数が20万人を超え、過去最高の来園者数となった。茶臼山エリア（動物園、植物園、恐竜園およびその周辺を含む）全体の魅力を向上させるさまざまな活性化策を今後実施するに当たり、市民の利用状況の把握や活性化策の優先度を定めるための参考とする。

●生涯学習について（教育委員会 生涯学習課）

平成24年度策定予定の「(仮称)第二次長野市生涯学習基本構想・基本計画」に市民の意見を反映するため、生涯学習に対する市民のニーズを把握し、計画策定の基礎資料とする。

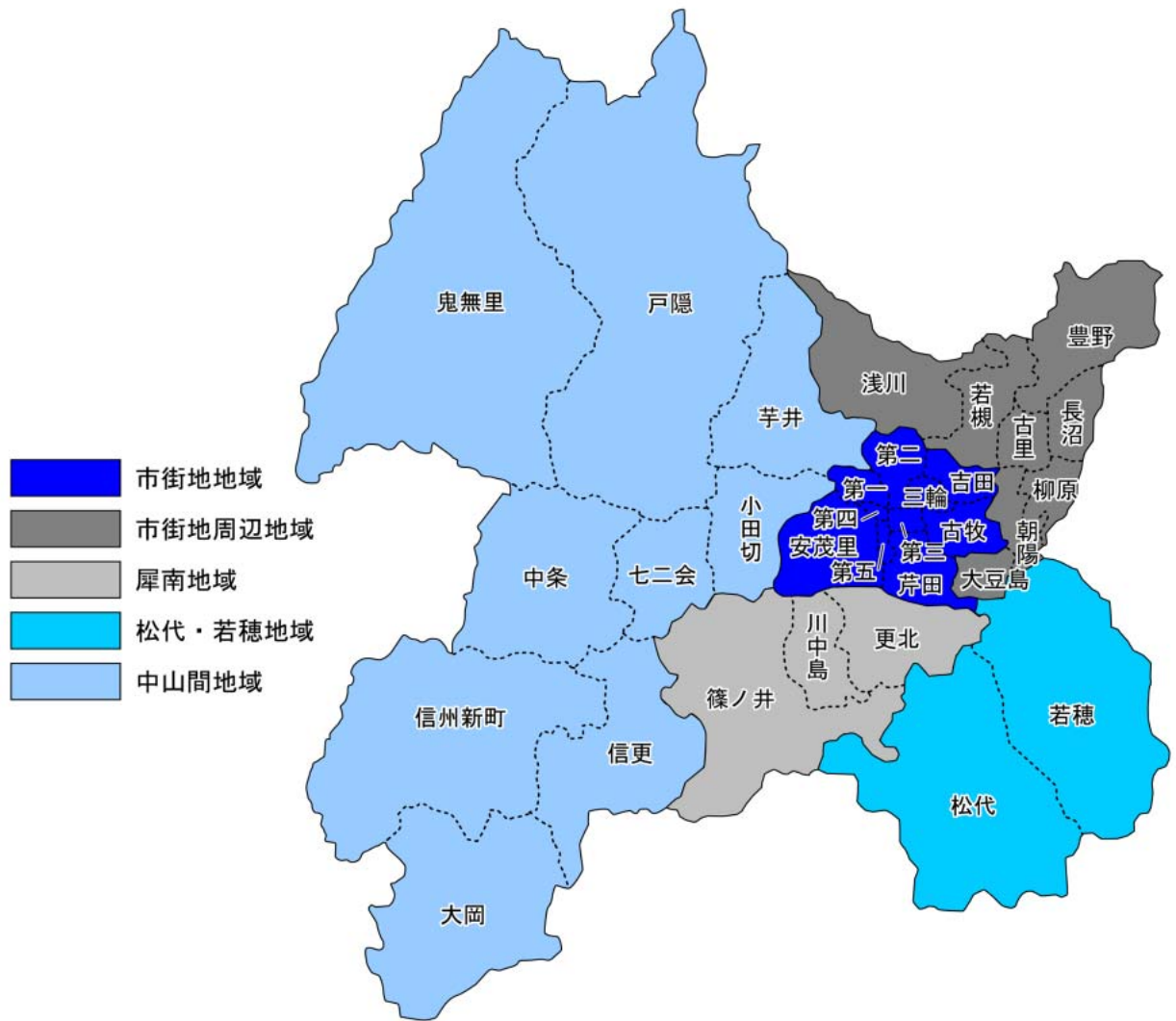
●その他市政全般（企画政策部 企画課）

行政施策の満足度、優先度などについて継続的に統計をとり、第四次長野市総合計画の指標などに活用する。

(10) 地域区分別回収状況一覧

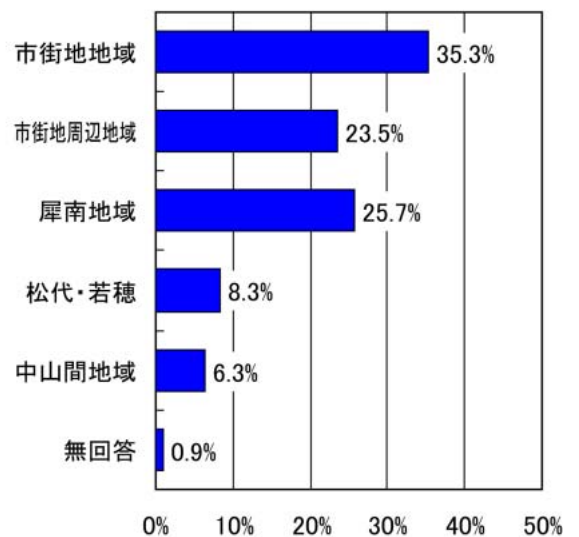
		抽出標本数			無効標本数	有効標本数	回収標本数	有効標本 回収率
		男性	女性	計				
市街地 地域	第一	42	41	83	0	83	66	79.5%
	第二	80	90	170	0	170	98	57.6%
	第三	54	72	126	0	126	64	50.8%
	第四	18	19	37	0	37	31	83.8%
	第五	29	38	67	0	67	37	55.2%
	芹田	164	148	312	0	312	189	60.6%
	古牧	157	179	336	0	336	218	64.9%
	三輪	114	112	226	0	226	148	65.5%
	吉田	105	121	226	0	226	166	73.5%
	安茂里	153	148	301	0	301	192	63.8%
小計		916	968	1,884	0	1,884	1,209	64.2%
市街地 周辺 地域	古里	85	96	181	0	181	124	68.5%
	柳原	52	43	95	0	95	69	72.6%
	浅川	51	48	99	0	99	70	70.7%
	大豆島	89	75	164	0	164	105	64.0%
	朝陽	112	88	200	0	200	130	65.0%
	若槻	141	129	270	0	270	191	70.7%
	長沼	17	17	34	0	34	24	70.6%
	豊野	69	62	131	0	131	91	69.5%
小計		616	558	1,174	0	1,174	804	68.5%
犀南 地域	篠ノ井	271	269	540	0	540	365	67.6%
	川中島	175	175	350	0	350	260	74.3%
	更北	198	231	429	0	429	257	59.9%
小計		644	675	1,319	0	1,319	882	66.9%
松代 若穂	松代	133	116	249	0	249	176	70.7%
	若穂	86	87	173	0	173	108	62.4%
小計		219	203	422	0	422	284	67.3%
中山 間 地域	小田切	7	12	19	0	19	12	63.2%
	芋井	18	16	34	0	34	19	55.9%
	七二会	13	12	25	0	25	18	72.0%
	信更	22	13	35	0	35	27	77.1%
	戸隠	24	31	55	0	55	40	72.7%
	鬼無里	12	11	23	0	23	20	87.0%
	大岡	8	7	15	0	15	14	93.3%
	信州新町	24	43	67	0	67	47	70.1%
中条	15	13	28	0	28	20	71.4%	
小計		143	158	301	0	301	217	72.1%
不明（未記入）							30	
合計		2,538	2,562	5,100	0	5,100	3,426	67.2%

(11) 地域区分図

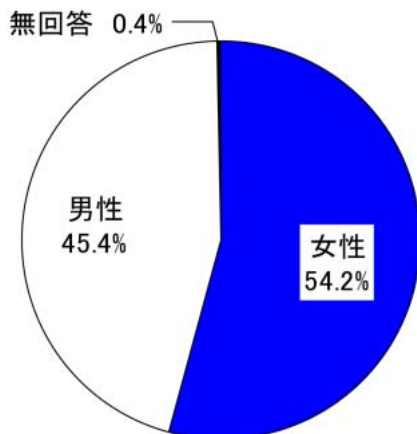


(12) 地域区分図サンプル構成

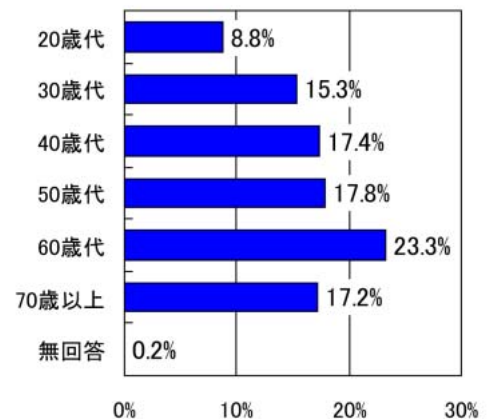
地域区分	地区名
市街地地域 (10地区)	第一地区、第二地区、第三地区、 第四地区、第五地区、芹田地区、 古牧地区、三輪地区、吉田地区、 安茂里地区
市街地周辺地域 (8地区)	古里地区、柳原地区、浅川地区、 大豆島地区、朝陽地区、若槻地区、 長沼地区、豊野地区
犀南地域 (3地区)	篠ノ井地区、川中島地区、 更北地区
松代・若穂 (2地区)	松代地区、若穂地区
中山間地域 (9地区)	小田切地区、芋井地区、 七二会地区、信更地区、戸隠地区、 鬼無里地区、大岡地区、 信州新町地区、中条地区



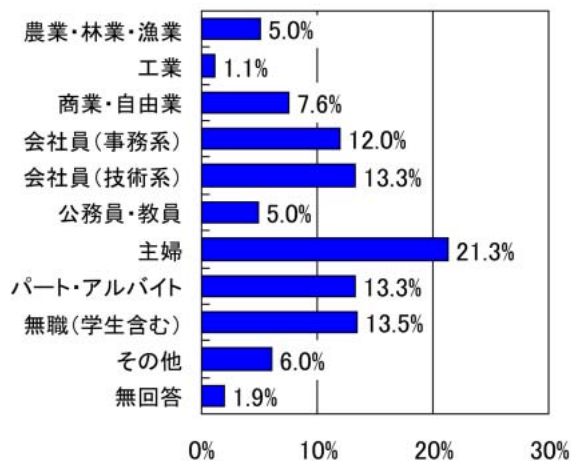
(13) 性別区分別サンプル構成



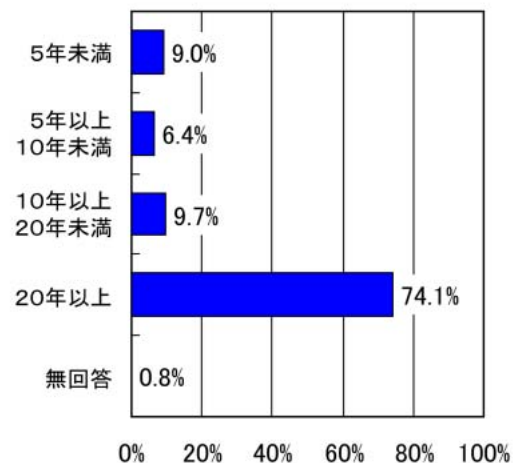
(14) 年代区分別サンプル構成



(15) 職業区分別サンプル構成



(16) 居住年数区分別サンプル構成



(17) 報告書の見方

- ①調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記している。従って、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。
- ②アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。
- ③属性別の結果については、特徴的なもの、資料として重要と思われるものについて分析した。なお、属性別にみた図表では、不明サンプルを表示していないため、標本数の合計が全体の標本数と異なる場合がある。
- ④設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上短く省略している場合がある。

(18) 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度は95%とする。

(注) 信頼度 95% : 同じ調査を 100 回実施したときに、おおむね 95 回まではこの精度が得られることを示す。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \doteq 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b : 標本誤差 (±少数ポイント)

N : 母集団 (人)

n : 標本数 (人)

P : 回答比率 (少数)

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

回答比率と標本誤差 (信頼度 95%の場合)

回答比率(P) 標本数 n(人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%
3,000	1.07	1.43	1.64	1.75	1.79
2,000	1.31	1.75	2.01	2.15	2.19
1,500	1.52	2.02	2.32	2.48	2.53
1,000	1.86	2.48	2.84	3.04	3.10
500	2.63	3.51	4.02	4.29	4.38
300	3.39	4.53	5.19	5.54	5.66

※上表は $(N-n) / (N-1) \doteq 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

表の見方

例えば、ある設問の回答者数が 1,500 人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±2.48%ポイント以内 (57.52~62.48%) である、と見ることができる。

2. 調查分析結果

2. 調査分析結果

住宅用火災警報器について

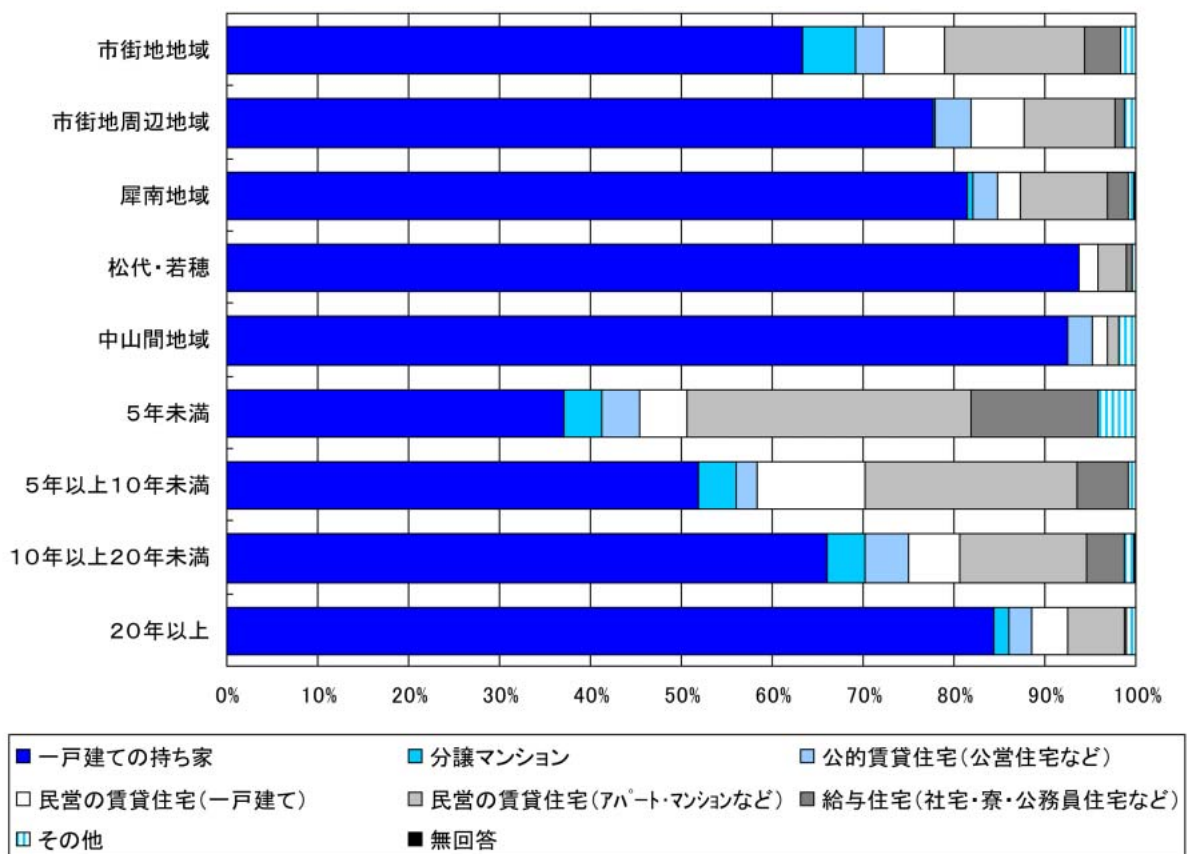
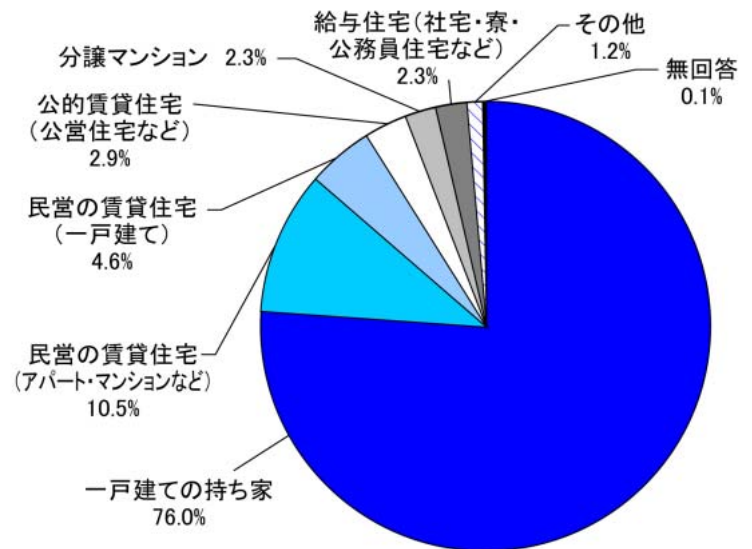
問1 あなたが現在お住まいの住宅について、次の中から1つだけ○をしてください。

		一戸建ての 持ち家	分譲 マンション	公的賃貸住 宅(公営住 宅など)	民営の賃貸 住宅 (一戸建て)	民営の賃貸 住宅 (アパート・マン ションなど)	給与住宅 (社宅・寮・ 公務員住宅 など)	その他	無回答	合計
全体		度数 2,605	80	99	159	359	78	41	5	3,426
		割合 76.0%	2.3%	2.9%	4.6%	10.5%	2.3%	1.2%	0.1%	100.0%
性別	男性	度数 1,192	29	40	66	166	40	19	4	1,556
		割合 76.6%	1.9%	2.6%	4.2%	10.7%	2.6%	1.2%	0.3%	100.0%
	女性	度数 1,401	51	59	93	193	38	22	1	1,858
		割合 75.4%	2.7%	3.2%	5.0%	10.4%	2.0%	1.2%	0.1%	100.0%
年代	20歳代	度数 185	4	6	18	66	14	8	2	303
		割合 61.1%	1.3%	2.0%	5.9%	21.8%	4.6%	2.6%	0.7%	100.0%
	30歳代	度数 291	14	17	32	128	32	9	0	523
		割合 55.6%	2.7%	3.3%	6.1%	24.5%	6.1%	1.7%	0.0%	100.0%
	40歳代	度数 400	22	24	35	86	23	4	2	596
		割合 67.1%	3.7%	4.0%	5.9%	14.4%	3.9%	0.7%	0.3%	100.0%
50歳代	度数 491	19	16	35	34	7	7	0	609	
	割合 80.6%	3.1%	2.6%	5.7%	5.6%	1.1%	1.1%	0.0%	100.0%	
60歳代	度数 700	13	23	24	28	2	7	1	798	
	割合 87.7%	1.6%	2.9%	3.0%	3.5%	0.3%	0.9%	0.1%	100.0%	
70歳以上	度数 531	8	13	15	17	0	5	0	589	
	割合 90.2%	1.4%	2.2%	2.5%	2.9%	0.0%	0.8%	0.0%	100.0%	
地域区分	市街地地域	度数 774	71	38	82	188	48	19	1	1,221
		割合 63.4%	5.8%	3.1%	6.7%	15.4%	3.9%	1.6%	0.1%	100.0%
	市街地周辺地域	度数 555	2	27	42	72	7	8	1	714
		割合 77.7%	0.3%	3.8%	5.9%	10.1%	1.0%	1.1%	0.1%	100.0%
	犀南地域	度数 716	5	25	22	84	20	6	2	880
割合 81.4%		0.6%	2.8%	2.5%	9.5%	2.3%	0.7%	0.2%	100.0%	
松代・若穂	度数 253	0	0	6	8	2	1	0	270	
	割合 93.7%	0.0%	0.0%	2.2%	3.0%	0.7%	0.4%	0.0%	100.0%	
中山間地域	度数 286	0	8	5	4	0	6	0	309	
	割合 92.6%	0.0%	2.6%	1.6%	1.3%	0.0%	1.9%	0.0%	100.0%	

回答者が現在住んでいる住宅の種類については、「一戸建ての持ち家」が76.0%と多数を占めた。

「民営の賃貸住宅」に住んでいる人は、「アパート・マンションなど」が10.5%、「一戸建て」が4.6%となった。

公営住宅など「公的賃貸住宅」に住んでいる人は2.9%、「分譲マンション」、「給与住宅(社宅・寮・公務員住宅など)」に住んでいる人は、ともに2.3%という結果になった。



住宅用火災警報器 ～「設置済み」は7割～

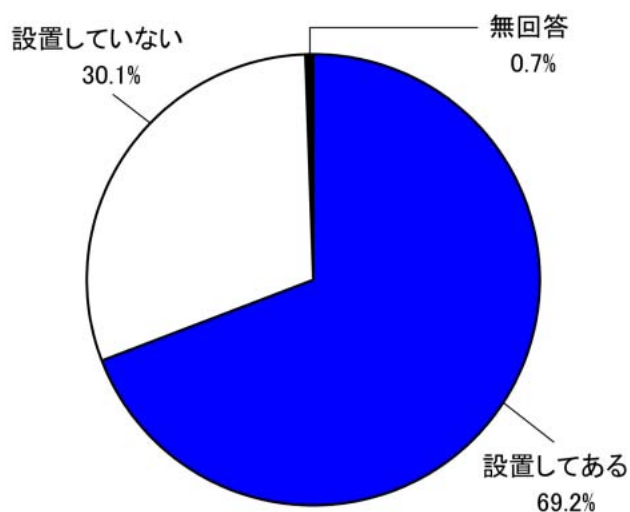
問2 長野市火災予防条例により、平成21年6月1日までに、すべての住宅へ住宅用火災警報器を設置することが義務付けられています。あなたがお住まいの住宅には、現在、住宅用火災警報器が設置されていますか。次の中から1つだけ○をしてください。

		設置してある	設置していない	無回答	合計	
全体	度数	2,371	1,032	23	3,426	
	割合	69.2%	30.1%	0.7%	100.0%	
性別	男性	度数	1,079	466	11	1,556
		割合	69.3%	29.9%	0.7%	100.0%
	女性	度数	1,283	563	12	1,858
		割合	69.1%	30.3%	0.6%	100.0%
年代	20歳代	度数	197	105	1	303
		割合	65.0%	34.7%	0.3%	100.0%
	30歳代	度数	395	126	2	523
		割合	75.5%	24.1%	0.4%	100.0%
	40歳代	度数	393	203	0	596
		割合	65.9%	34.1%	0.0%	100.0%
	50歳代	度数	396	208	5	609
		割合	65.0%	34.2%	0.8%	100.0%
	60歳代	度数	540	253	5	798
		割合	67.7%	31.7%	0.6%	100.0%
	70歳以上	度数	444	135	10	589
		割合	75.4%	22.9%	1.7%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	876	338	7	1,221
		割合	71.7%	27.7%	0.6%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	483	229	2	714
		割合	67.6%	32.1%	0.3%	100.0%
	犀南地域	度数	583	291	6	880
		割合	66.3%	33.1%	0.7%	100.0%
	松代・若穂	度数	175	94	1	270
		割合	64.8%	34.8%	0.4%	100.0%
	中山間地域	度数	233	70	6	309
		割合	75.4%	22.7%	1.9%	100.0%

住宅用火災警報器の設置状況は、「設置してある」が69.2%、「設置していない」が30.1%という結果となった。

地域別で見ると、「設置してある」という回答が最も多かった地域は「中山間地域(75.4%)」、続いて「市街地地域(71.7%)」となった。

一方で、「松代・若穂」の「設置してある」という回答は64.8%であり、「中山間地域」を10ポイント以上下回る結果となった。



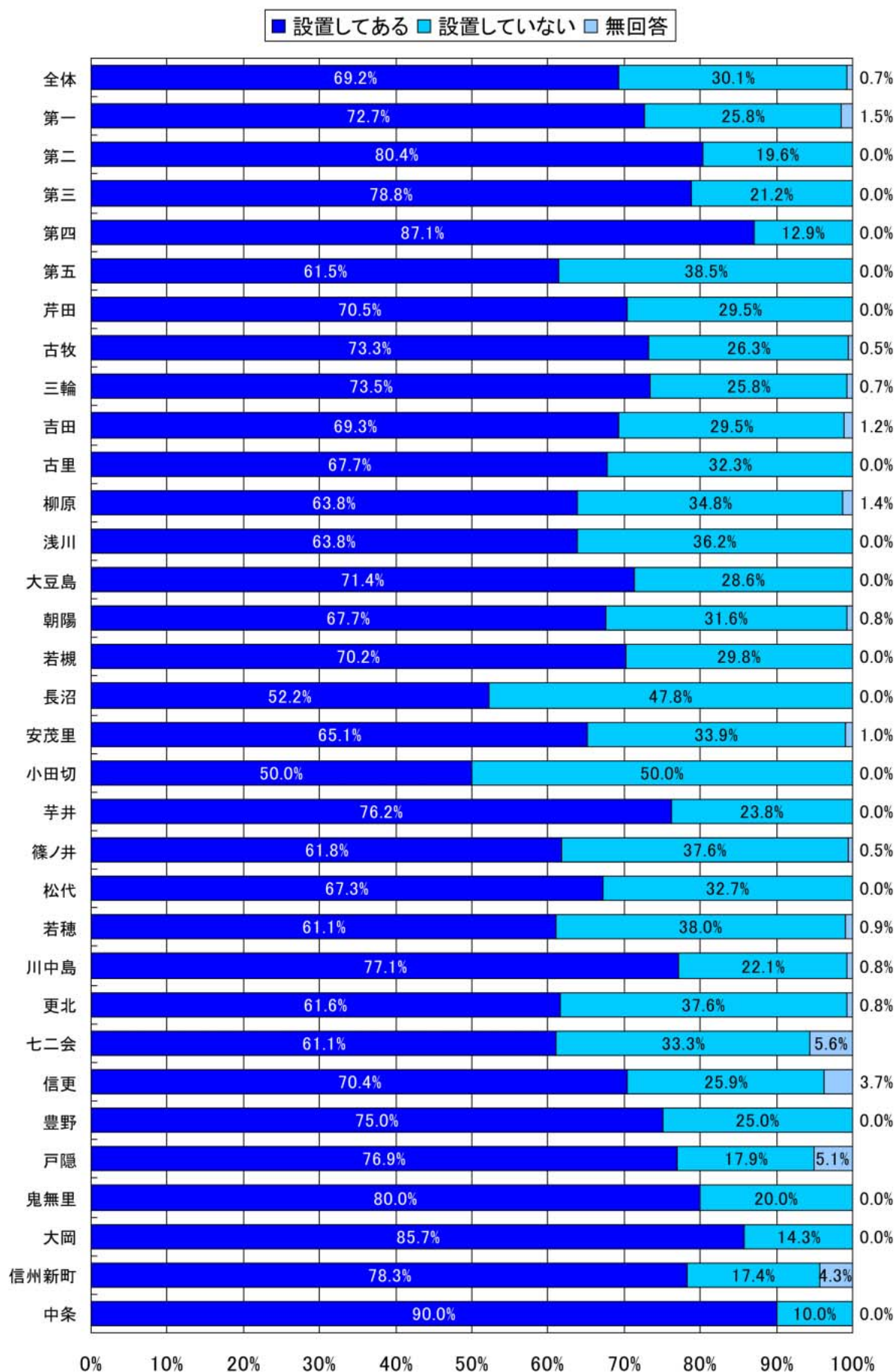
住宅の種類別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		設置してある	設置していない	無回答	合計	
全体	度数	2,371	1,032	23	3,426	
	割合	69.2%	30.1%	0.7%	100.0%	
住宅の種類	一戸建ての持ち家	度数	1,700	887	18	2,605
		割合	65.3%	34.0%	0.7%	100.0%
	分譲マンション	度数	74	4	2	80
		割合	92.5%	5.0%	2.5%	100.0%
	公的賃貸住宅(公営住宅など)	度数	97	2	0	99
		割合	98.0%	2.0%	0.0%	100.0%
	民営の賃貸住宅(一戸建て)	度数	95	63	1	159
		割合	59.7%	39.6%	0.6%	100.0%
	民営の賃貸住宅 (アパート・マンションなど)	度数	303	54	2	359
		割合	84.4%	15.0%	0.6%	100.0%
	給与住宅 (社宅・寮・公務員住宅など)	度数	73	5	0	78
		割合	93.6%	6.4%	0.0%	100.0%
	その他	度数	26	15	0	41
		割合	63.4%	36.6%	0.0%	100.0%

住宅用火災警報器を「設置してある」という回答は、「公的賃貸住宅(公営住宅など)」が98.0%と最も多く、ほぼ100%に近い設置状況であることが分かった。また、「給与住宅(社宅・寮・公務員住宅など)」が93.6%、「分譲マンション」が92.5%と、ともに9割を超える高い設置率を示している。

一方で「一戸建ての持ち家」では65.3%、「民営の賃貸住宅(一戸建て)」では59.7%と、一戸建て住宅における設置状況は遅れている状況である。

32 地区別の設置状況は次のグラフのとおりである。



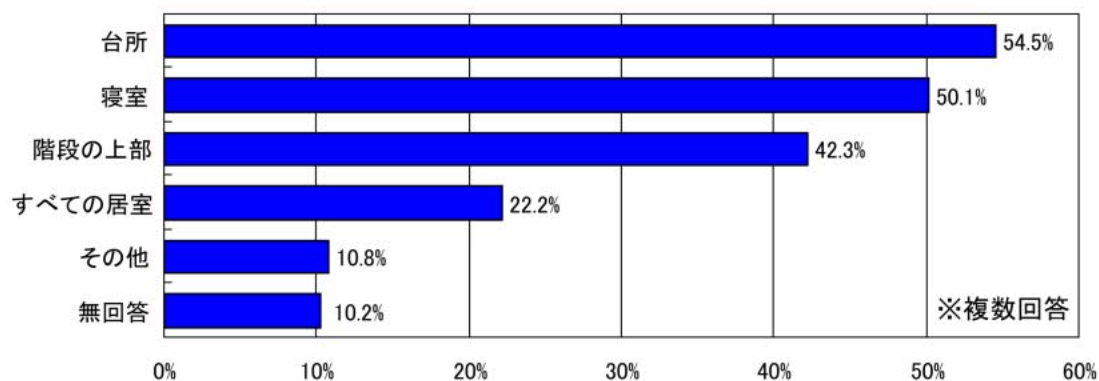
住宅用火災警報器の設置場所 ～「台所」が最多～

問3 問2で「設置してある」に○をした方にお伺いします。設置してある場所はどこですか。当てはまるものすべてに○をしてください。

		寝室	階段の上部	台所	すべての居室	その他	無回答	対象	
全体	度数	1,188	1,002	1,293	527	255	243	2,371	
	割合	50.1%	42.3%	54.5%	22.2%	10.8%	10.2%	-	
性別	男性	度数	539	463	574	238	114	8	1,079
		割合	50.0%	42.9%	53.2%	22.1%	10.6%	0.7%	-
	女性	度数	642	533	705	285	138	19	1,283
		割合	50.0%	41.5%	54.9%	22.2%	10.8%	1.5%	-
年代	20歳代	度数	93	65	84	60	14	1	197
		割合	47.2%	33.0%	42.6%	30.5%	7.1%	0.5%	-
	30歳代	度数	208	127	170	136	43	1	395
		割合	52.7%	32.2%	43.0%	34.4%	10.9%	0.3%	-
	40歳代	度数	194	149	179	109	45	3	393
		割合	49.4%	37.9%	45.5%	27.7%	11.5%	0.8%	-
	50歳代	度数	183	178	216	79	44	2	396
		割合	46.2%	44.9%	54.5%	19.9%	11.1%	0.5%	-
	60歳代	度数	263	277	350	75	59	12	540
		割合	48.7%	51.3%	64.8%	13.9%	10.9%	2.2%	-
	70歳以上	度数	242	200	281	63	46	9	444
		割合	54.5%	45.0%	63.3%	14.2%	10.4%	2.0%	-
地域区分	市街地地域	度数	424	323	453	246	91	9	876
		割合	48.4%	36.9%	51.7%	28.1%	10.4%	1.0%	-
	市街地周辺地域	度数	276	240	256	91	48	4	483
		割合	57.1%	49.7%	53.0%	18.8%	9.9%	0.8%	-
	犀南地域	度数	288	241	299	134	57	10	583
		割合	49.4%	41.3%	51.3%	23.0%	9.8%	1.7%	-
	松代・若穂	度数	85	78	117	24	15	1	175
		割合	48.6%	44.6%	66.9%	13.7%	8.6%	0.6%	-
	中山間地域	度数	104	112	149	24	38	4	233
		割合	44.6%	48.1%	63.9%	10.3%	16.3%	1.7%	-

住宅用火災警報器の設置場所について、最も多かった場所は「台所（54.5%）」だった。条例で設置が義務付けられている「寝室」は50.1%、「階段の上部」は42.3%となった。

また、「すべての居室」に設置しているケースも22.2%となった。



住宅の種類別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		寝室	階段の上部	台所	すべての居室	その他	無回答	対象	
全体	度数	1,188	1,002	1,293	527	255	243	2,371	
	割合	50.1%	42.3%	54.5%	22.2%	10.8%	10.2%	-	
住宅の種類	一戸建ての持ち家	度数	874	911	1,064	236	178	18	1,700
		割合	51.4%	53.6%	62.6%	13.9%	10.5%	1.1%	-
	分譲マンション	度数	22	1	27	58	5	0	74
		割合	29.7%	1.4%	36.5%	78.4%	6.8%	0.0%	-
	公的賃貸住宅 (公営住宅など)	度数	41	20	17	51	11	2	97
		割合	42.3%	20.6%	17.5%	52.6%	11.3%	2.1%	-
	民営の賃貸住宅 (一戸建て)	度数	45	30	45	16	10	3	95
		割合	47.4%	31.6%	47.4%	16.8%	10.5%	3.2%	-
	民営の賃貸住宅 (アパート・マンションなど)	度数	166	22	97	100	41	5	303
		割合	54.8%	7.3%	32.0%	33.0%	13.5%	1.7%	-
給与住宅(社宅・寮・ 公務員住宅など)	度数	22	2	25	56	3	0	73	
	割合	30.1%	2.7%	34.2%	76.7%	4.1%	0.0%	-	
その他	度数	14	11	8	7	4	0	26	
	割合	53.8%	42.3%	30.8%	26.9%	15.4%	0.0%	-	

条例で住宅用火災警報器の設置が義務付けられている「寝室」への設置が多い住宅は、「民営の賃貸住宅（アパート・マンションなど）」が 54.8%、「一戸建ての持ち家」が 51.4%などとなった。

寝室同様、設置が義務付けられている「階段の上部」への設置は、「一戸建ての持ち家」が 53.6%となった一方で、「民営の賃貸住宅（一戸建て）」では 31.6%と、設置状況に大きく差が開いた。

「台所」への設置が最も多い住宅は「一戸建ての持ち家」で 62.6%となった。「民営の賃貸住宅（一戸建て）」が 47.4%と続いている。

「すべての居室」に設置されている住宅は、「分譲マンション（78.4%）」と「給与住宅（社宅・寮・公務員住宅など、76.7%）」が高い割合を示している。また、「公的賃貸住宅（公営住宅など）」についても、52.6%と比較的高い設置率であった。

設置していない理由 ～設置費用に負担感～

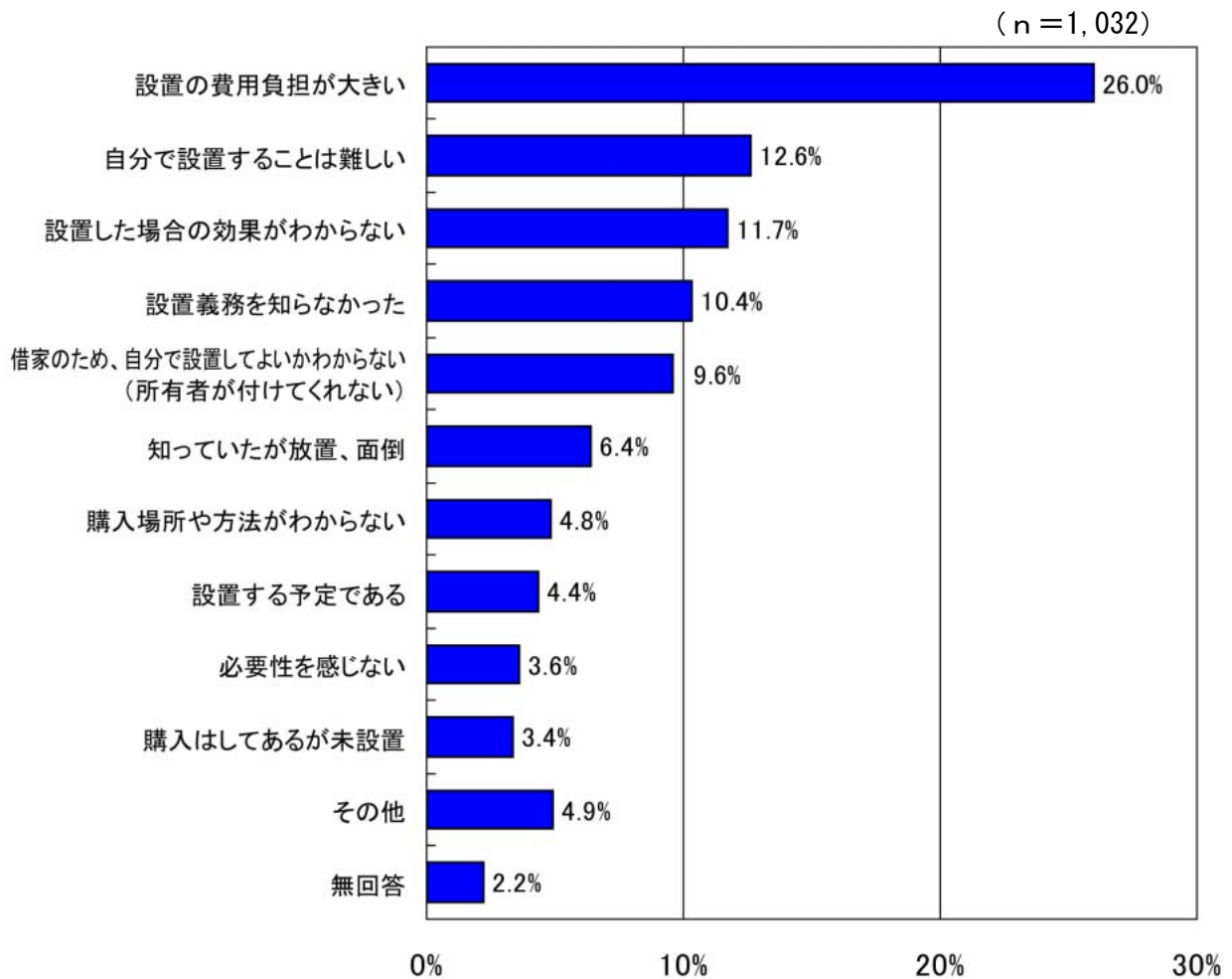
問4 問2で「設置していない」に○をした方にお伺いします。設置していない理由を1つだけ選んで○をしてください。

		設置義務を知らなかった	設置の費用負担が大きい	自分で設置することは難しい	購入場所や方法がわからない	借家のため、自分で設置してよいかかわらない(所有者が付けてくれない)	設置した場合の効果かわからない	購入はしてあるが未設置	設置する予定である	知っていたが放置、面倒	必要性を感じない	その他	無回答	合計	
全体		度数 割合	107 10.4%	268 26.0%	130 12.6%	50 4.8%	99 9.6%	121 11.7%	35 3.4%	45 4.4%	66 6.4%	37 3.6%	51 4.9%	23 2.2%	1,032 100.0%
性別	男性	度数 割合	55 11.8%	115 24.7%	43 9.2%	22 4.7%	39 8.4%	66 14.2%	15 3.2%	24 5.2%	30 6.4%	15 3.2%	28 6.0%	14 3.0%	466 100.0%
	女性	度数 割合	51 9.1%	151 26.8%	84 14.9%	28 5.0%	56 9.9%	53 9.4%	15 2.7%	21 3.7%	34 6.0%	21 3.7%	28 5.0%	21 3.0%	563 100.0%
年代	20歳代	度数 割合	14 13.3%	26 24.8%	21 20.0%	6 5.7%	11 10.5%	8 7.6%	0 0.0%	2 1.9%	4 3.8%	3 2.9%	9 8.6%	1 3.0%	105 100.0%
	30歳代	度数 割合	12 9.5%	32 25.4%	14 11.1%	5 4.0%	27 21.4%	12 9.5%	4 3.2%	1 0.8%	8 6.3%	2 1.6%	7 5.6%	2 3.0%	126 100.0%
	40歳代	度数 割合	10 4.9%	72 35.5%	20 9.9%	12 5.9%	23 11.3%	22 10.8%	10 4.9%	5 2.5%	11 5.4%	6 3.0%	7 3.4%	5 3.0%	203 100.0%
	50歳代	度数 割合	20 9.6%	51 24.5%	21 10.1%	10 4.8%	16 7.7%	29 13.9%	5 2.4%	6 2.9%	21 10.1%	12 5.8%	13 6.3%	4 3.0%	208 100.0%
	60歳代	度数 割合	22 8.7%	62 24.5%	31 12.3%	12 4.7%	13 5.1%	34 13.4%	10 4.0%	21 8.3%	14 5.5%	9 3.6%	13 5.1%	12 3.0%	253 100.0%
	70歳以上	度数 割合	26 19.3%	23 17.0%	21 15.6%	5 3.7%	5 3.7%	15 11.1%	1 0.7%	10 7.4%	6 4.4%	4 3.0%	7 5.2%	12 3.0%	135 100.0%
地域区分	市街地地域	度数 割合	32 9.5%	83 24.6%	41 12.1%	12 3.6%	55 16.3%	39 11.5%	12 3.6%	9 2.7%	20 5.9%	8 2.4%	15 4.4%	12 3.6%	338 100.0%
	市街地周辺地域	度数 割合	18 7.9%	62 27.1%	30 13.1%	12 5.2%	17 7.4%	30 13.1%	2 0.9%	12 5.2%	15 6.6%	10 4.4%	13 5.7%	8 3.5%	229 100.0%
	犀南地域	度数 割合	33 11.3%	78 26.8%	32 11.0%	14 4.8%	16 5.5%	32 11.0%	9 3.1%	16 5.5%	21 7.2%	13 4.5%	20 6.9%	7 2.4%	291 100.0%
	松代・若穂	度数 割合	15 16.0%	26 27.7%	14 14.9%	9 9.6%	3 3.2%	7 7.4%	2 2.1%	2 2.1%	6 6.4%	5 5.3%	2 2.1%	3 3.2%	94 100.0%
	中山間地域	度数 割合	8 11.4%	15 21.4%	11 15.7%	3 4.3%	1 1.4%	10 14.3%	5 7.1%	6 8.6%	1 1.4%	0 0.0%	6 8.6%	4 5.7%	70 100.0%

住宅用火災警報器を設置していない理由としては、「設置の費用負担が大きい」が26.0%と最多であり、設置費用への負担感がうかがえる結果となった。

このほか、「自分で設置することは難しい(12.6%)」、「設置した場合の効果かわからない(11.7%)」、「設置義務を知らなかった(10.4%)」という理由が続いている。

一方で、現在は設置していないものの、今後「設置する予定である(4.4%)」、「購入してあるが未設置(3.4%)」という回答もあり、今後の普及が進む要素も見られる。

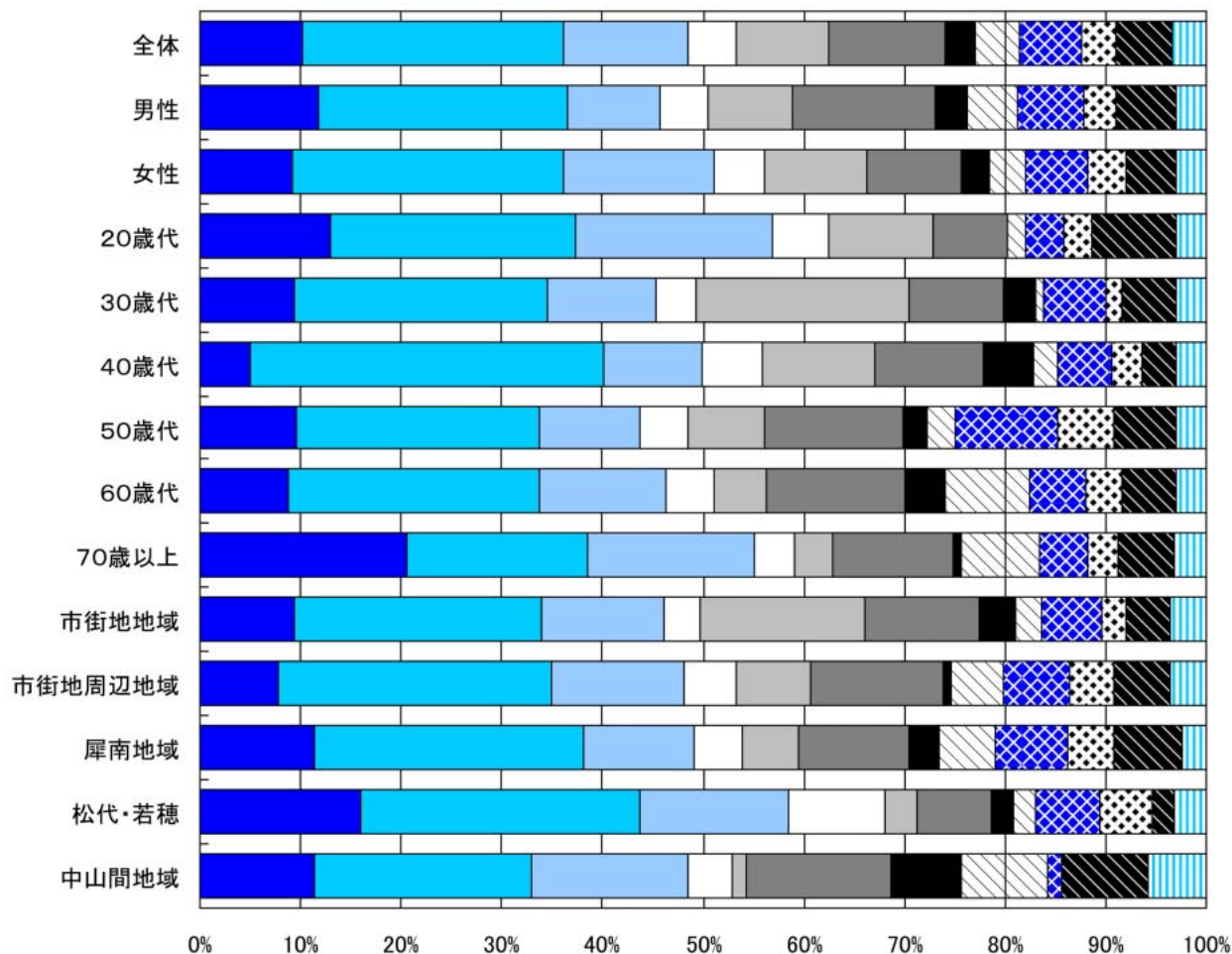


男女別で見ると、「自分で設置することは難しい」という回答は「男性(9.2%)」よりも「女性(14.9%)」の方が多く、「設置した場合の効果がわからない」という回答は「女性(9.4%)」よりも「男性(14.2%)」の方が多かった。

年代別では、「設置の費用負担が大きい」という回答は「40歳代(35.5%)」が最も多く、「70歳以上(17.0%)」の回答を18.5ポイント上回った。

「自分で設置することは難しい」という回答は「20歳代(20.0%)」と「70歳以上(15.6%)」が多く、最も少ないのは「40歳代(9.9%)」となった。

地域別では、「借家のため、自分で設置してよいかわからない」という回答は「市街地地域」が他の地域に比べ高く、16.3%であった。



- 設置義務を知らなかった
- 設置の費用負担が大きい
- 自分で設置することは難しい
- 購入場所や方法がわからない
- 借家のため、自分で設置してよいかわからない(所有者が付けてくれない)
- 設置した場合の効果かわからない
- 購入はしてあるが未設置
- 設置する予定である
- 知っていたが放置、面倒
- 必要性を感じない
- その他
- 無回答

住宅の種類別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		設置義務を知らなかった	設置の費用負担が大きい	自分で設置することは難しい	購入場所や方法がわからない	借家のため、自分で設置してよいかわからない (所有者が付けてくれない)	設置した場合の効果がわからない	購入はしてあるが未設置	設置する予定である	知っていたが放置、面倒	必要性を感じない	その他	無回答	合計
全体		度数 107	268	130	50	99	121	35	45	66	37	51	23	1,032
		割合 10.4%	26.0%	12.6%	4.8%	9.6%	11.7%	3.4%	4.4%	6.4%	3.6%	4.9%	2.2%	100.0%
住宅の種類	一戸建ての持ち家	度数 99	255	122	44	0	115	29	44	64	32	50	33	887
		割合 11.2%	28.7%	13.8%	5.0%	0.0%	13.0%	3.3%	5.0%	7.2%	3.6%	5.6%	3.7%	100.0%
	分譲マンション	度数 1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
		割合 25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	公的賃貸住宅 (公営住宅など)	度数 0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		割合 0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	民営の賃貸住宅 (一戸建て)	度数 3	2	2	3	45	1	0	1	0	2	1	3	63
		割合 4.8%	3.2%	3.2%	4.8%	71.4%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%	3.2%	1.6%	4.8%	100.0%
民営の賃貸住宅 (アパート・マンションなど)	度数 1	3	1	1	45	1	0	0	0	0	0	2	54	
	割合 1.9%	5.6%	1.9%	1.9%	83.3%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	100.0%	
給与住宅(社宅・寮・ 公務員住宅など)	度数 0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5	
	割合 0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
その他	度数 2	5	0	0	2	3	0	0	0	0	1	2	15	
	割合 13.3%	33.3%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	100.0%

「一戸建ての持ち家」では、「設置の費用負担が大きい (28.7%)」という理由が最多であった。「自分で設置することは難しい (13.8%)」、「設置した場合の効果がわからない (13.0%)」という理由が続いている。

「民営の賃貸住宅 (一戸建ておよびアパート・マンションなど)」では、「借家のため、自分で設置してよいかわからない」という理由が最も多く、ともに7割を超えている。

消防団について

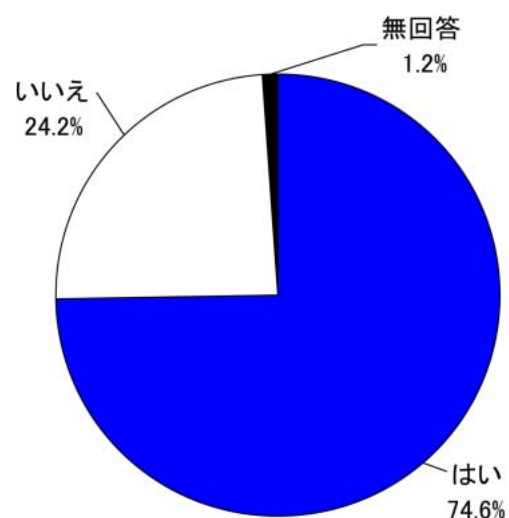
地域の消防団の認知度 ～75%～

問5 あなたは、今住んでいる地域に消防団があることを知っていましたか。

			はい	いいえ	無回答	合計
全体	度数		2,556	828	42	3,426
	割合		74.6%	24.2%	1.2%	100.0%
性別	男性	度数	1,205	335	16	1,556
		割合	77.4%	21.5%	1.0%	100.0%
	女性	度数	1,342	492	24	1,858
		割合	72.2%	26.5%	1.3%	100.0%
年代	20歳代	度数	182	118	3	303
		割合	60.1%	38.9%	1.0%	100.0%
	30歳代	度数	321	201	1	523
		割合	61.4%	38.4%	0.2%	100.0%
	40歳代	度数	434	159	3	596
		割合	72.8%	26.7%	0.5%	100.0%
	50歳代	度数	471	132	6	609
		割合	77.3%	21.7%	1.0%	100.0%
	60歳代	度数	654	132	12	798
		割合	82.0%	16.5%	1.5%	100.0%
	70歳以上	度数	487	85	17	589
		割合	82.7%	14.4%	2.9%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	721	489	11	1,221
		割合	59.0%	40.0%	0.9%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	587	120	7	714
		割合	82.2%	16.8%	1.0%	100.0%
	犀南地域	度数	687	178	15	880
		割合	78.1%	20.2%	1.7%	100.0%
	松代・若穂	度数	246	18	6	270
		割合	91.1%	6.7%	2.2%	100.0%
	中山間地域	度数	298	9	2	309
		割合	96.4%	2.9%	0.6%	100.0%

今住んでいる地域に消防団があることを知っているかについて、「はい（知っていた）」という回答は74.6%、「いいえ（知らなかった）」という回答は24.2%だった。

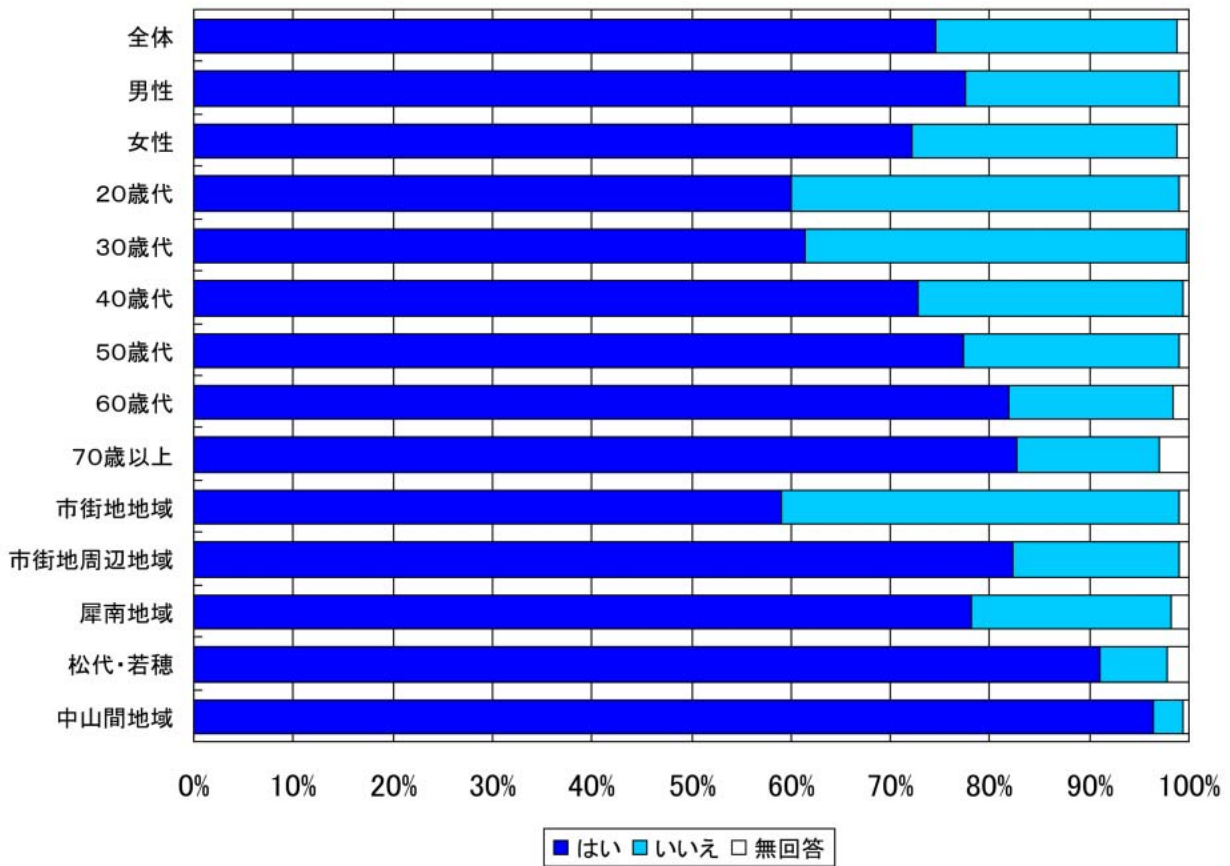
およそ4分の3の市民が、地域の消防団を知っていることがうかがえる。



男女別でみると、「はい（知っていた）」という回答は「男性」が77.4%、「女性」が72.2%となった。

年代別でみると、「はい（知っていた）」という回答は、年代が高くなるにしたがって高くなっている。「20歳代」の回答が60.1%であるのに対し、「70歳以上」では82.7%に達しており、22.6ポイントの開きがある。

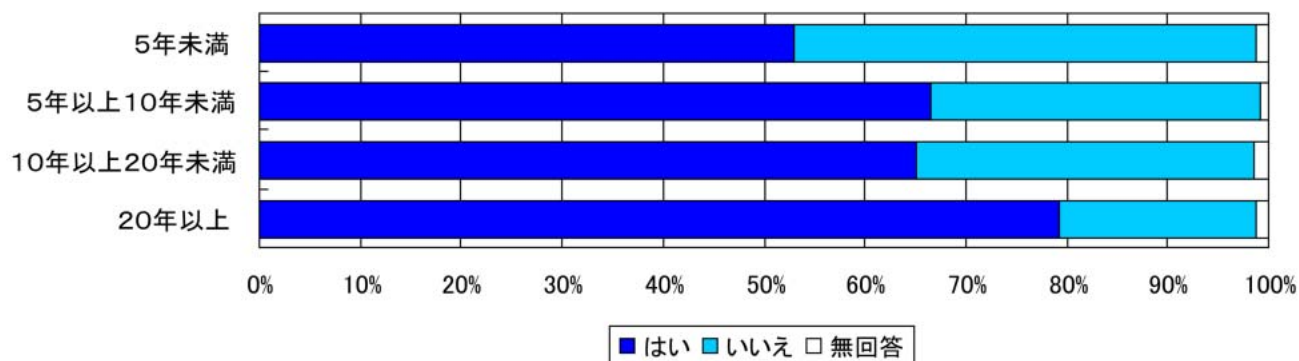
地域別では、「中山間地域」における「はい（知っていた）」という回答は96.4%となった。地域に消防団が深く根付いていることがうかがえる。それに対して「市街地地域」では59.0%と、他の地域に比べ最も認知度が低くなっている。



居住年数別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

			はい	いいえ	無回答	合計
全体	度数		2,556	828	42	3,426
	割合		74.6%	24.2%	1.2%	100.0%
居住年数	5年未満	度数	164	142	4	310
		割合	52.9%	45.8%	1.3%	100.0%
	5年以上10年未満	度数	145	71	2	218
		割合	66.5%	32.6%	0.9%	100.0%
	10年以上20年未満	度数	216	111	5	332
		割合	65.1%	33.4%	1.5%	100.0%
	20年以上	度数	2,010	499	30	2,539
		割合	79.2%	19.7%	1.2%	100.0%

「はい (知っていた)」という回答は、居住年数が長くなるにしたがって高くなる傾向にある。居住年数が「5年未満」では 52.9%であるのに対し、「20年以上」では 79.2%に達し、その差は 26.3ポイントである。



地域の消防団への入団 ～7割の市民が消極的～

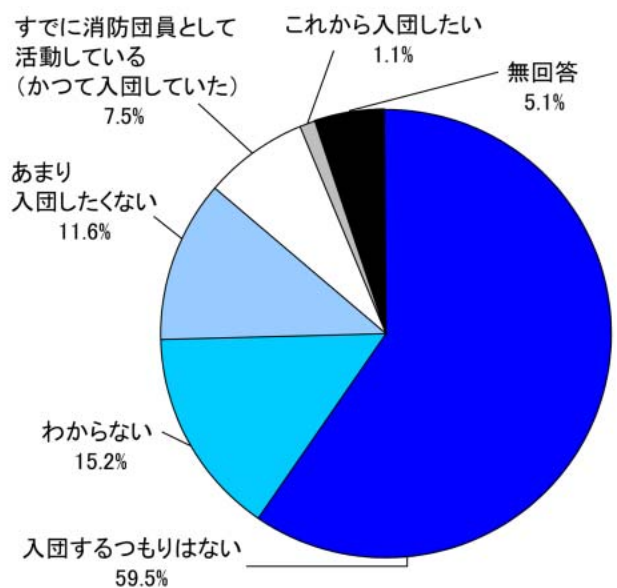
問6 あなたは、地域の消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。

		すでに消防団員として活動している(かつて入団していた)	これから入団したい	あまり入団したくない	入団するつもりはない	わからない	無回答	合計	
全体		度数	258	39	396	2,037	520	176	3,426
		割合	7.5%	1.1%	11.6%	59.5%	15.2%	5.1%	100.0%
性別	男性	度数	237	21	187	846	204	61	1,556
		割合	15.2%	1.3%	12.0%	54.4%	13.1%	3.9%	100.0%
	女性	度数	21	18	209	1,183	315	112	1,858
		割合	1.1%	1.0%	11.2%	63.7%	17.0%	6.0%	100.0%
年代	20歳代	度数	4	6	52	179	60	2	303
		割合	1.3%	2.0%	17.2%	59.1%	19.8%	0.7%	100.0%
	30歳代	度数	24	9	101	293	91	5	523
		割合	4.6%	1.7%	19.3%	56.0%	17.4%	1.0%	100.0%
	40歳代	度数	41	5	93	350	99	8	596
		割合	6.9%	0.8%	15.6%	58.7%	16.6%	1.3%	100.0%
50歳代	度数	60	10	69	354	102	14	609	
	割合	9.9%	1.6%	11.3%	58.1%	16.7%	2.3%	100.0%	
60歳代	度数	72	8	64	506	103	45	798	
	割合	9.0%	1.0%	8.0%	63.4%	12.9%	5.6%	100.0%	
70歳以上	度数	55	1	16	352	64	101	589	
	割合	9.3%	0.2%	2.7%	59.8%	10.9%	17.1%	100.0%	
地域区分	市街地地域	度数	22	12	148	758	225	56	1,221
		割合	1.8%	1.0%	12.1%	62.1%	18.4%	4.6%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	48	9	83	460	84	30	714
		割合	6.7%	1.3%	11.6%	64.4%	11.8%	4.2%	100.0%
	犀南地域	度数	74	12	116	516	113	49	880
割合		8.4%	1.4%	13.2%	58.6%	12.8%	5.6%	100.0%	
松代・若穂	度数	31	2	26	156	38	17	270	
	割合	11.5%	0.7%	9.6%	57.8%	14.1%	6.3%	100.0%	
中山間地域	度数	82	3	20	130	52	22	309	
	割合	26.5%	1.0%	6.5%	42.1%	16.8%	7.1%	100.0%	

地域の消防団に入団したいと思うかについては、「入団するつもりはない(59.5%)」が最も多い回答となった。

「あまり入団したくない(11.6%)」と合計すると、およそ7割の市民が、入団へ消極的な考えを持っていることがうかがえる結果となった。

「すでに消防団員として活動している(かつて入団していた)」は7.5%、「これから入団したい」はわずか1.1%に留まっている。



男女別でみると、「すでに消防団員として活動している（かつて入団していた）」という回答は「男性」が15.2%であるのに対し、「女性」は1.1%と「女性」の割合が著しく低い。

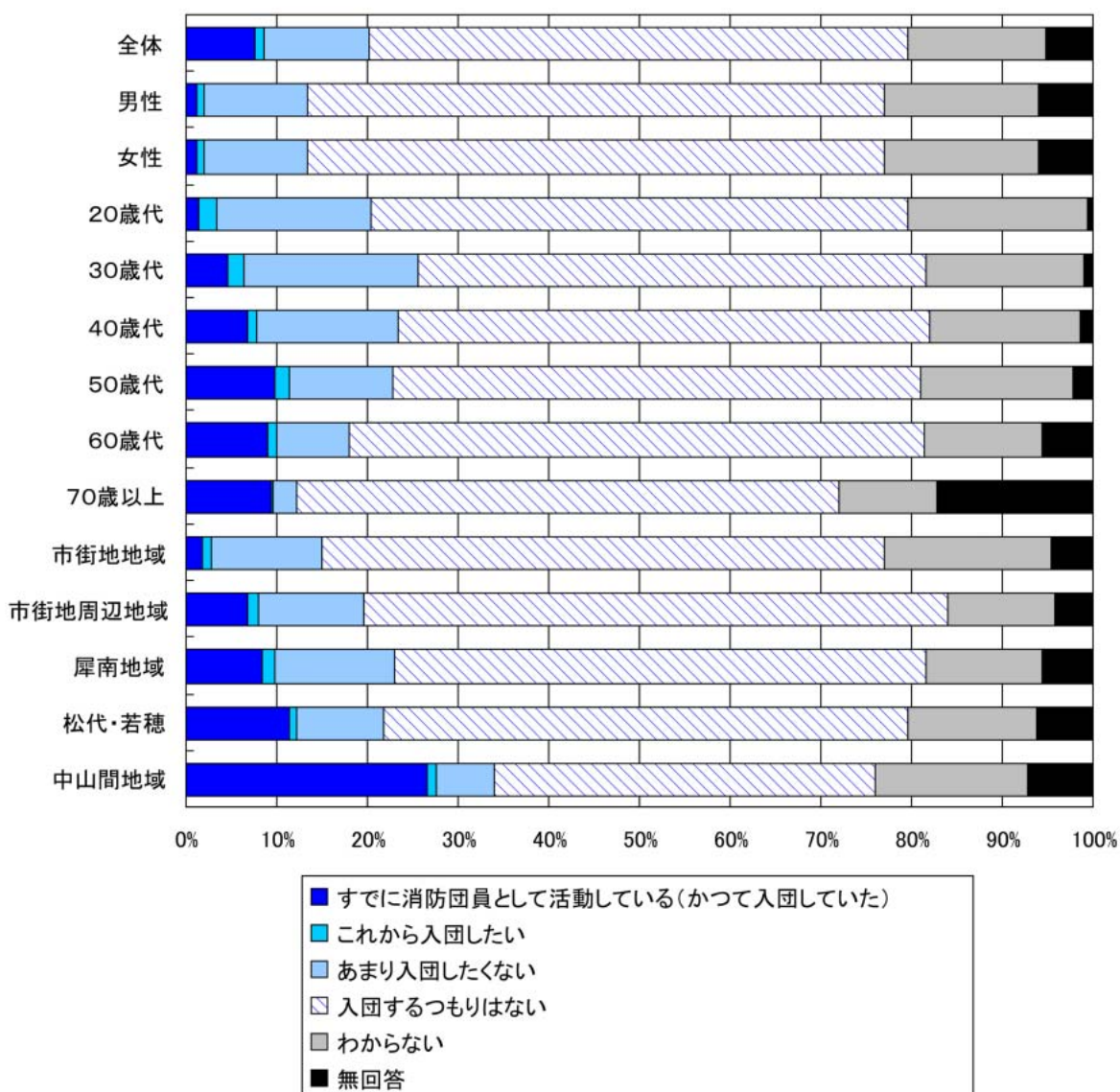
「入団するつもりはない」と「あまり入団したくない」を合計した「入団に消極的な割合」は、「男性」が66.4%、「女性」が74.9%であり、「女性」のおよそ4分の3は入団に消極的であることがうかがえる。

年代別でみると、「すでに消防団員として活動している（かつて入団していた）」という回答が最も多かった年代は「50歳代（9.9%）」で、最も低かった年代は「20歳代（1.3%）」となった。

「入団するつもりはない」と「あまり入団したくない」を合計した「入団に消極的な割合」は、年代が高くなるにしたがって低下する傾向にある。

地域別では、「すでに消防団員として活動している（かつて入団していた）」は「市街地地域」で1.8%であるのに対し、「中山間地域」では26.5%となっている。「中山間地域」ではおよそ4分の1の市民が消防団の活動を経験していることがうかがえる。

「入団するつもりはない」と「あまり入団したくない」を合計した「入団に消極的な割合」が最も多かった地域は「市街地周辺地域」で、76.0%に達している。



職業別・居住年数別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

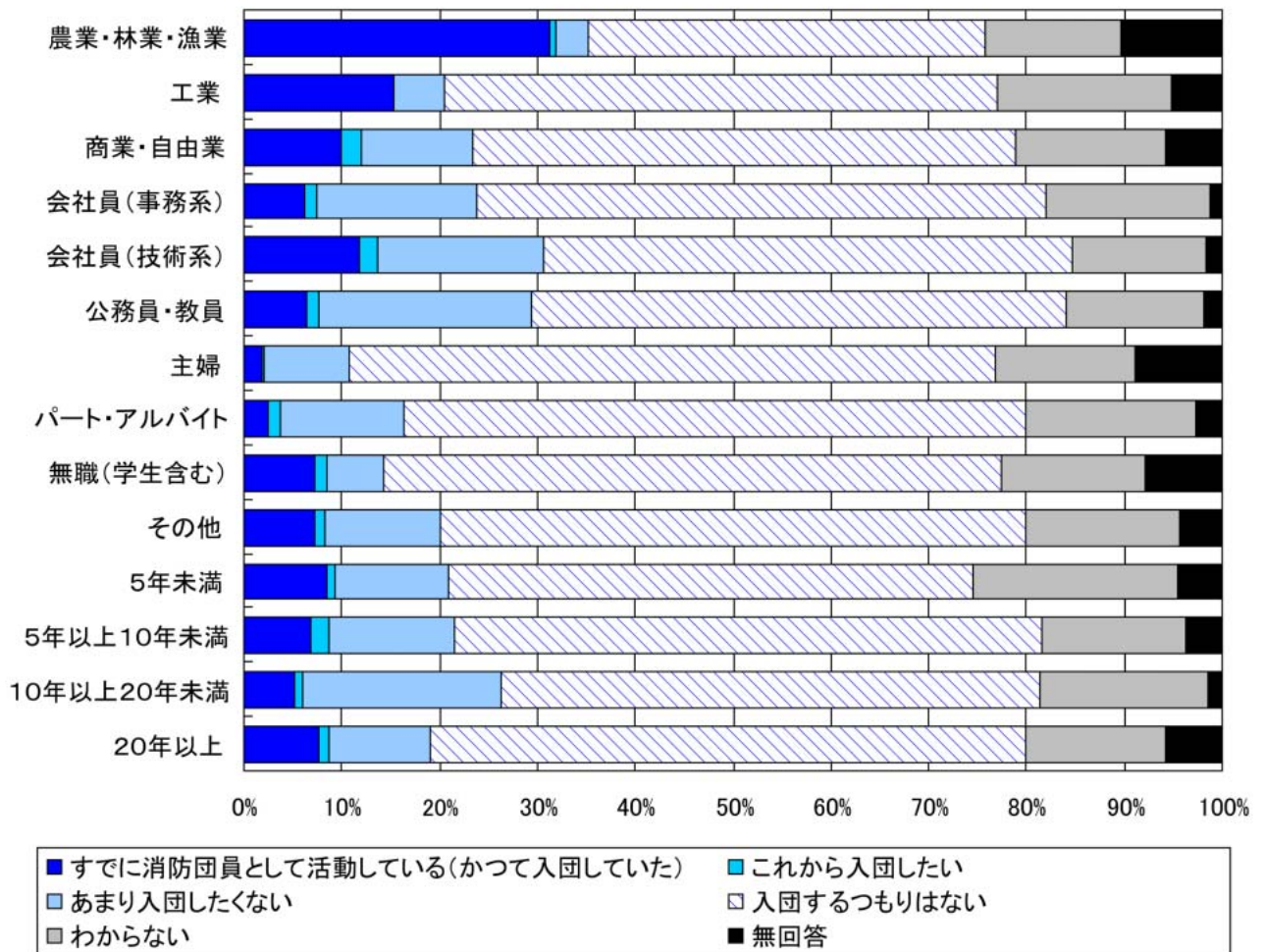
		すでに消防団員として活動している(かつて入団していた)	これから入団したい	あまり入団したくない	入団するつもりはない	わからない	無回答	合計	
全体	度数	258	39	396	2,037	520	176	3,426	
	割合	7.5%	1.1%	11.6%	59.5%	15.2%	5.1%	100.0%	
職業	農業・林業・漁業	度数	54	1	6	70	24	18	173
		割合	31.2%	0.6%	3.5%	40.5%	13.9%	10.4%	100.0%
	工業	度数	6	0	2	22	7	2	39
		割合	15.4%	0.0%	5.1%	56.4%	17.9%	5.1%	100.0%
	商業・自由業	度数	26	5	30	144	40	15	260
		割合	10.0%	1.9%	11.5%	55.4%	15.4%	5.8%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	26	5	67	240	69	5	412
		割合	6.3%	1.2%	16.3%	58.3%	16.7%	1.2%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	54	8	77	246	62	8	455
		割合	11.9%	1.8%	16.9%	54.1%	13.6%	1.8%	100.0%
	公務員・教員	度数	11	2	37	93	24	3	170
割合		6.5%	1.2%	21.8%	54.7%	14.1%	1.8%	100.0%	
主婦	度数	13	2	63	482	105	65	730	
	割合	1.8%	0.3%	8.6%	66.0%	14.4%	8.9%	100.0%	
パート・アルバイト	度数	11	6	58	289	80	12	456	
	割合	2.4%	1.3%	12.7%	63.4%	17.5%	2.6%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	33	6	27	291	68	36	461	
	割合	7.2%	1.3%	5.9%	63.1%	14.8%	7.8%	100.0%	
その他	度数	15	2	24	123	32	9	205	
	割合	7.3%	1.0%	11.7%	60.0%	15.6%	4.4%	100.0%	
居住年数	5年未満	度数	26	3	36	166	65	14	310
		割合	8.4%	1.0%	11.6%	53.5%	21.0%	4.5%	100.0%
	5年以上10年未満	度数	15	4	28	131	32	8	218
		割合	6.9%	1.8%	12.8%	60.1%	14.7%	3.7%	100.0%
10年以上20年未満	度数	17	3	67	183	57	5	332	
	割合	5.1%	0.9%	20.2%	55.1%	17.2%	1.5%	100.0%	
20年以上	度数	194	29	262	1,546	363	145	2,539	
	割合	7.6%	1.1%	10.3%	60.9%	14.3%	5.7%	100.0%	

職業別でみると、「すでに消防団員として活動している(かつて入団していた)」という回答が最も多いのは「農業・林業・漁業(31.2%)」で、他の職業に比べ圧倒的に多い。回答が最も少ないのは「主婦(1.8%)」で、「パート・アルバイト(2.4%)」が続いている。

「入団するつもりはない」と「あまり入団したくない」を合計した「入団に消極的な割合」が最も多いのは「公務員・教員(76.5%)」で、回答者の4分の3以上が入団に消極的であることがうかがえる。

居住年数別では、「すでに消防団員として活動している(かつて入団していた)」は居住年数「5年未満(8.4%)」が最も多かった。

「入団するつもりはない」と「あまり入団したくない」を合計した「入団に消極的な割合」が最も多いのは居住年数「10年以上20年未満」で、75.3%に達している。



入団したくない理由 ～「負担の大きさ」と「仕事」～

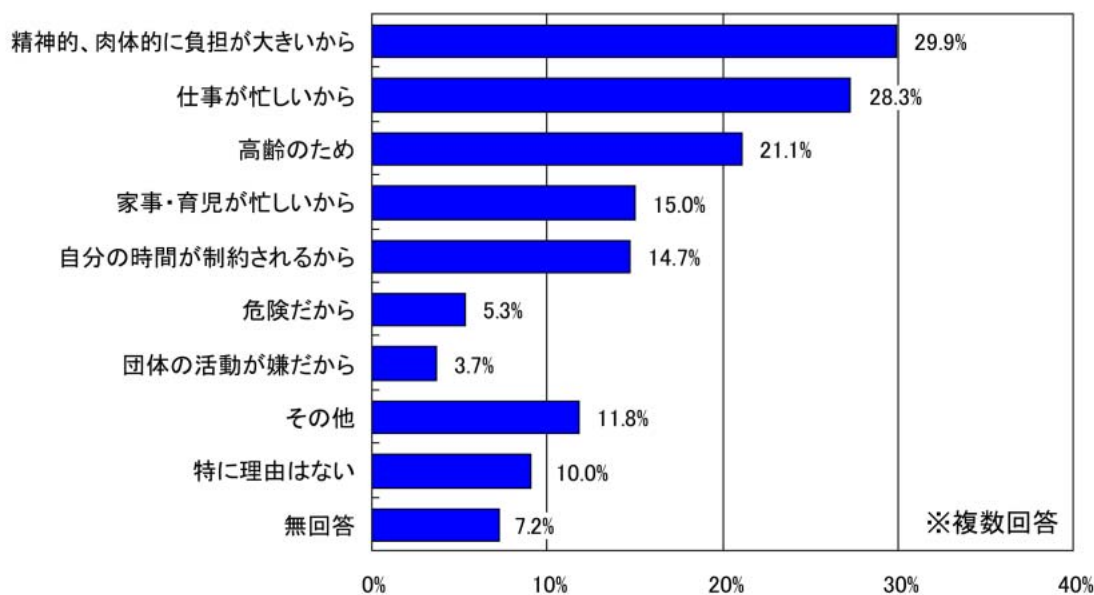
問7 問6で「あまり入団したくない」または「入団するつもりはない」に○をした方にお伺いします。あなたが消防団に入団したくない理由を次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

		危険だから	精神的、肉体的に負担が大きいから	仕事が忙しいから	家事・育児が忙しいから	自分の時間が制約されるから	団体の活動が嫌だから	高齢のため	その他	特に理由はない	無回答	対象	
全体		度数	130	727	689	365	358	90	513	287	244	176	2,433
		割合	5.3%	29.9%	28.3%	15.0%	14.7%	3.7%	21.1%	11.8%	10.0%	7.2%	-
性別	男性	度数	29	252	393	21	180	50	234	111	89	9	1,033
	割合	2.8%	24.4%	38.0%	2.0%	17.4%	4.8%	22.7%	10.7%	8.6%	0.9%	-	
	女性	度数	99	453	274	339	168	38	258	141	131	14	1,392
	割合	7.1%	32.5%	19.7%	24.4%	12.1%	2.7%	18.5%	10.1%	9.4%	1.0%	-	
年代	20歳代	度数	24	45	83	41	70	15	2	23	26	1	231
		割合	10.4%	19.5%	35.9%	17.7%	30.3%	6.5%	0.9%	10.0%	11.3%	0.4%	-
	30歳代	度数	19	93	178	134	75	18	0	37	31	0	394
		割合	4.8%	23.6%	45.2%	34.0%	19.0%	4.6%	0.0%	9.4%	7.9%	0.0%	-
	40歳代	度数	26	130	188	128	91	27	7	46	19	3	443
		割合	5.9%	29.3%	42.4%	28.9%	20.5%	6.1%	1.6%	10.4%	4.3%	0.7%	-
	50歳代	度数	26	163	147	34	63	14	50	54	47	2	423
		割合	6.1%	38.5%	34.8%	8.0%	14.9%	3.3%	11.8%	12.8%	11.1%	0.5%	-
	60歳代	度数	19	185	63	16	44	11	209	65	64	5	570
		割合	3.3%	32.5%	11.1%	2.8%	7.7%	1.9%	36.7%	11.4%	11.2%	0.9%	-
	70歳以上	度数	14	90	8	6	5	3	226	27	34	12	368
		割合	3.8%	24.5%	2.2%	1.6%	1.4%	0.8%	61.4%	7.3%	9.2%	3.3%	-
地域区分	市街地地域	度数	43	255	245	139	142	25	170	105	86	8	906
		割合	4.7%	28.1%	27.0%	15.3%	15.7%	2.8%	18.8%	11.6%	9.5%	0.9%	-
	市街地周辺地域	度数	24	138	160	84	83	21	130	47	40	5	543
		割合	4.4%	25.4%	29.5%	15.5%	15.3%	3.9%	23.9%	8.7%	7.4%	0.9%	-
	犀南地域	度数	41	200	179	91	84	33	127	59	61	3	632
		割合	6.5%	31.6%	28.3%	14.4%	13.3%	5.2%	20.1%	9.3%	9.7%	0.5%	-
松代・若穂	度数	10	54	47	27	23	5	31	22	15	2	182	
	割合	5.5%	29.7%	25.8%	14.8%	12.6%	2.7%	17.0%	12.1%	8.2%	1.1%	-	
中山間地域	度数	9	54	29	16	17	4	33	18	17	5	150	
	割合	6.0%	36.0%	19.3%	10.7%	11.3%	2.7%	22.0%	12.0%	11.3%	3.3%	-	

「消防団に入団したくない理由」としては、「精神的、肉体的に負担が大きいから（29.9%）」が最多となった。

このほか、「仕事が忙しいから（28.3%）」や「家事・育児が忙しいから（15.0%）」、「自分の時間が制約されるから（14.7%）」といった回答も目立っており、消防団の活動によって自分の時間が大きく制約されることが、入団への障害になっていることがうかがえる。

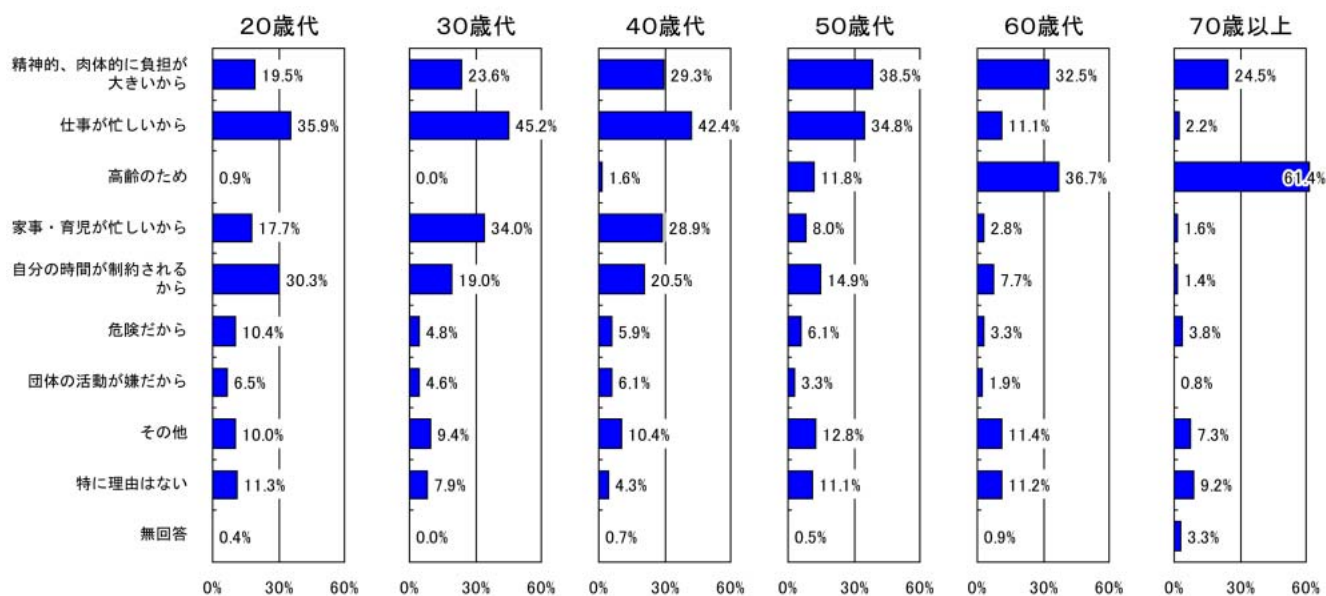
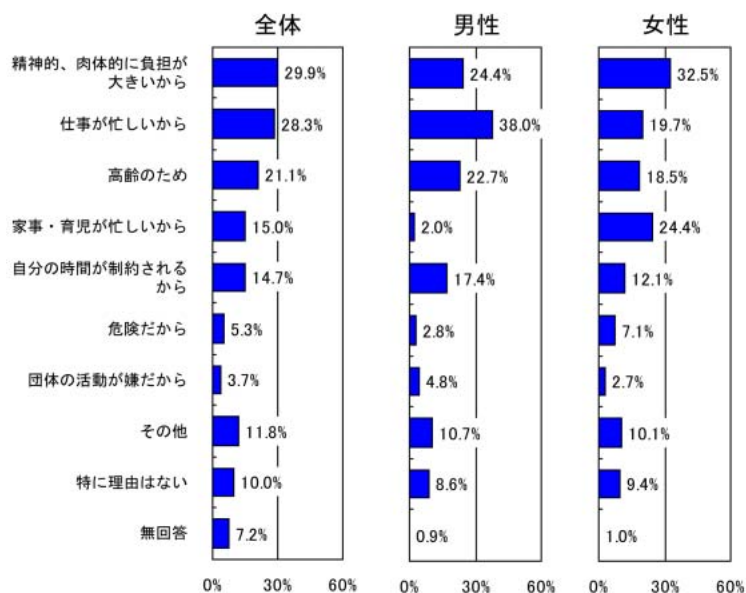
また、「特に理由はない」といった回答も1割に達した。



男女別にみると、「精神的、肉体的に負担が大きいから」と「家事・育児が忙しいから」は、「男性」より「女性」の回答割合が大きい。逆に、「仕事が忙しいから」は、「女性」より「男性」の回答割合が大きい。

また、「男性」で最も多い回答は「仕事が忙しいから（38.0%）」であるのに対し、「女性」は「精神的、肉体的に負担が大きいから（32.5%）」となっている。

年代別でみると、「20歳代」から「40歳代」までは「仕事が忙しいから」が最も多い回答となっている。「50歳代」では「精神的、肉体的に負担が大きいから」が、「60歳代」および「70歳以上」では「高齢のため」が、最も多い回答となっている。



観光について

長野市の観光 ～最大の魅力は「自然・景観」～

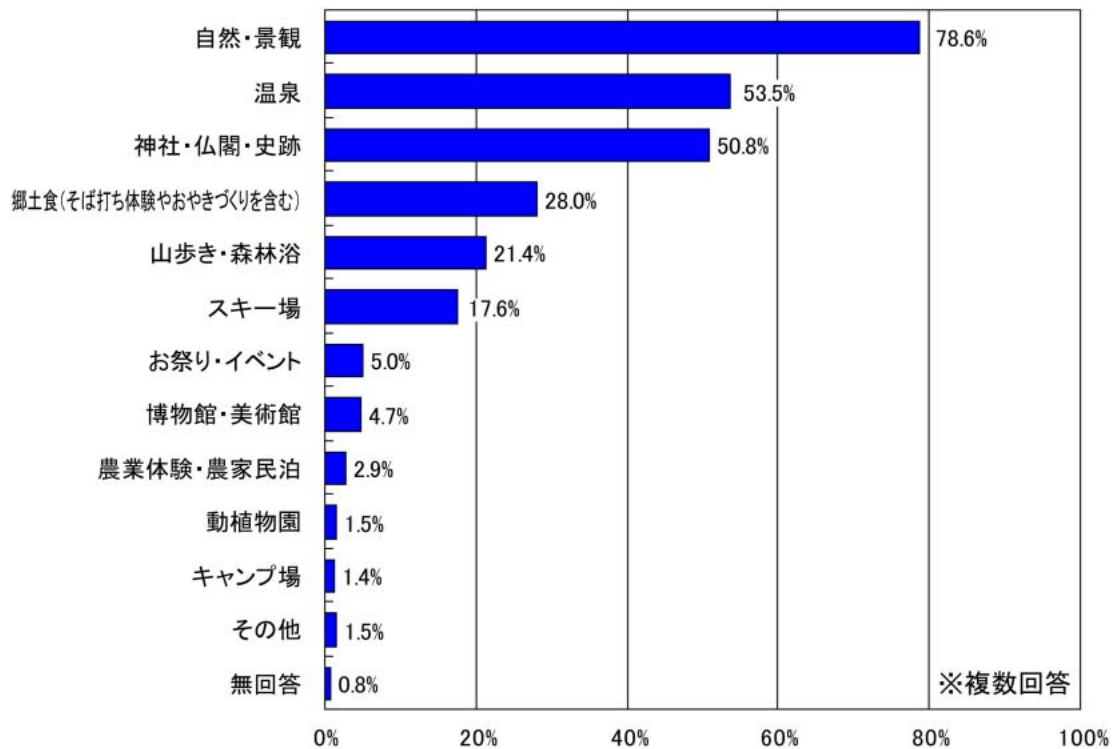
問8 長野市の「観光の魅力」について、あなたが全国の知人・友人に誇れるもの、または勧めたいものは何ですか。次の中から3つ以内で選んで○をしてください。

		自然・景観	神社・仏閣・史跡	博物館・美術館	動植物園	温泉	スキー場	キャンプ場	郷土食	農業体験・農家民泊	山歩き・森林浴	お祭り・イベント	その他	無回答	対象
全体	度数	2,694	1,739	161	50	1,834	603	47	960	98	732	172	51	29	3,426
	割合	78.6%	50.8%	4.7%	1.5%	53.5%	17.6%	1.4%	28.0%	2.9%	21.4%	5.0%	1.5%	0.8%	-
性別	男性	1,192	811	63	17	805	355	27	390	49	293	75	29	14	1,556
	割合	76.6%	52.1%	4.0%	1.1%	51.7%	22.8%	1.7%	25.1%	3.1%	18.8%	4.8%	1.9%	0.9%	-
	女性	1,495	925	97	32	1,026	248	20	569	47	438	96	22	14	1,858
	割合	80.5%	49.8%	5.2%	1.7%	55.2%	13.3%	1.1%	30.6%	2.5%	23.6%	5.2%	1.2%	0.8%	-
年代	20歳代	229	151	5	8	146	88	6	98	6	50	18	4	2	303
	割合	75.6%	49.8%	1.7%	2.6%	48.2%	29.0%	2.0%	32.3%	2.0%	16.5%	5.9%	1.3%	0.7%	-
	30歳代	360	238	13	6	297	142	13	174	18	98	22	13	0	523
	割合	68.8%	45.5%	2.5%	1.1%	56.8%	27.2%	2.5%	33.3%	3.4%	18.7%	4.2%	2.5%	0.0%	-
	40歳代	464	295	21	5	334	141	12	164	12	111	34	6	1	596
	割合	77.9%	49.5%	3.5%	0.8%	56.0%	23.7%	2.0%	27.5%	2.0%	18.6%	5.7%	1.0%	0.2%	-
	50歳代	501	304	31	11	339	86	6	156	19	147	32	8	0	609
	割合	82.3%	49.9%	5.1%	1.8%	55.7%	14.1%	1.0%	25.6%	3.1%	24.1%	5.3%	1.3%	0.0%	-
	60歳代	667	426	43	14	417	83	8	221	20	209	40	8	7	798
	割合	83.6%	53.4%	5.4%	1.8%	52.3%	10.4%	1.0%	27.7%	2.5%	26.2%	5.0%	1.0%	0.9%	-
	70歳以上	467	322	46	6	299	61	2	145	23	116	26	11	19	589
	割合	79.3%	54.7%	7.8%	1.0%	50.8%	10.4%	0.3%	24.6%	3.9%	19.7%	4.4%	1.9%	3.2%	-
地域区分	市街地地域	943	666	65	9	640	205	16	364	25	279	68	17	5	1,221
	割合	77.2%	54.5%	5.3%	0.7%	52.4%	16.8%	1.3%	29.8%	2.0%	22.9%	5.6%	1.4%	0.4%	-
	市街地周辺地域	567	329	25	10	409	124	11	204	16	152	25	16	3	714
	割合	79.4%	46.1%	3.5%	1.4%	57.3%	17.4%	1.5%	28.6%	2.2%	21.3%	3.5%	2.2%	0.4%	-
	犀南地域	691	431	36	24	490	167	11	222	26	202	41	13	11	880
割合	78.5%	49.0%	4.1%	2.7%	55.7%	19.0%	1.3%	25.2%	3.0%	23.0%	4.7%	1.5%	1.3%	-	
	松代・若穂	214	152	11	5	158	39	0	61	6	43	19	4	3	270
	割合	79.3%	56.3%	4.1%	1.9%	58.5%	14.4%	0.0%	22.6%	2.2%	15.9%	7.0%	1.5%	1.1%	-
	中山間地域	254	145	23	1	123	60	9	100	24	52	15	0	6	309
	割合	82.2%	46.9%	7.4%	0.3%	39.8%	19.4%	2.9%	32.4%	7.8%	16.8%	4.9%	0.0%	1.9%	-

長野市の「観光の魅力」については、「自然・景観（78.6%）」という回答が最も多く、次に「温泉（53.5%）」が続いた。自然豊かな長野市ならではの結果となった。

66ページから73ページに掲載している「基本施策の満足度調査」では、「豊かな自然と触れ合える場所が豊富にあること」が最も満足度が高い項目となったが、それを裏付ける結果となっている。

このほか、「神社・仏閣・史跡」という回答も5割を超える回答（50.8%）となった。



【性別・年代別順位】上位5項目

順位	全体 (n=3,426)	男性 (n=1,556)	女性 (n=1,858)	20歳代 (n=303)	30歳代 (n=523)	40歳代 (n=596)	50歳代 (n=609)	60歳代 (n=798)	70歳以上 (n=589)
1	自然・景観 (78.6%)	自然・景観 (76.6%)	自然・景観 (80.5%)	自然・景観 (75.6%)	自然・景観 (68.8%)	自然・景観 (77.9%)	自然・景観 (82.3%)	自然・景観 (83.6%)	自然・景観 (79.3%)
2	温泉 (53.5%)	神社・仏閣・史跡 (52.1%)	温泉 (55.2%)	神社・仏閣・史跡 (49.8%)	温泉 (56.8%)	温泉 (56.0%)	温泉 (55.7%)	神社・仏閣・史跡 (53.4%)	神社・仏閣・史跡 (54.7%)
3	神社・仏閣・史跡 (50.8%)	温泉 (51.7%)	神社・仏閣・史跡 (49.8%)	温泉 (48.2%)	神社・仏閣・史跡 (45.5%)	神社・仏閣・史跡 (49.5%)	神社・仏閣・史跡 (49.9%)	温泉 (52.3%)	温泉 (50.8%)
4	郷土食 (28.0%)	郷土食 (25.1%)	郷土食 (30.6%)	郷土食 (32.3%)	郷土食 (33.3%)	郷土食 (27.5%)	郷土食 (25.6%)	郷土食 (27.7%)	郷土食 (24.6%)
5	山歩き・森林浴 (21.4%)	スキー場 (22.8%)	山歩き・森林浴 (23.6%)	スキー場 (29.0%)	スキー場 (27.2%)	スキー場 (23.7%)	山歩き・森林浴 (24.1%)	山歩き・森林浴 (26.2%)	山歩き・森林浴 (19.7%)

男女別にみると、男女ともに「自然・景観」がトップになった。続いて、「男性」は「神社・仏閣・史跡 (52.1%)」、「温泉 (51.7%)」の順に、「女性」は「温泉 (55.2%)」、「神社・仏閣・史跡 (49.8%)」の順になっている。

「郷土食」は男女ともに4位、続く5位には、「男性」は「スキー場 (22.8%)」が、女性は「山歩き・森林浴 (23.6%)」が入っている。

年代別にみると、どの年代でも「自然・景観」がトップになった。2位には、「20歳代」、「60歳代」、「70歳以上」では「神社・仏閣・史跡」が、それ以外の年代では「温泉」が入った。

「郷土食」はどの年代も4位であった。

5位には、「20歳代」から「40歳代」までは「スキー場」が、「50歳代」以上は「山歩き・森林浴」が入っている。

【地域別順位】上位5項目

順位	全体 (n=3,426)	市街地地域 (n=1,221)	市街地周辺地域 (n=714)	犀南地域 (n=880)	松代・若穂 (n=270)	中山間地域 (n=309)
1	自然・景観 (78.6%)	自然・景観 (77.2%)	自然・景観 (79.4%)	自然・景観 (78.5%)	自然・景観 (79.3%)	自然・景観 (82.2%)
2	温泉 (53.5%)	神社・仏閣・史跡 (54.5%)	温泉 (57.3%)	温泉 (55.7%)	温泉 (58.5%)	神社・仏閣・史跡 (46.9%)
3	神社・仏閣・史跡 (50.8%)	温泉 (52.4%)	神社・仏閣・史跡 (46.1%)	神社・仏閣・史跡 (49.0%)	神社・仏閣・史跡 (56.3%)	温泉 (39.8%)
4	郷土食 (28.0%)	郷土食 (29.8%)	郷土食 (28.6%)	郷土食 (25.2%)	郷土食 (22.6%)	郷土食 (32.4%)
5	山歩き・森林浴 (21.4%)	山歩き・森林浴 (22.9%)	山歩き・森林浴 (21.3%)	山歩き・森林浴 (23.0%)	山歩き・森林浴 (15.9%)	スキー場 (19.4%)

地域別では、どの地域でも「自然・景観」がトップになった。

2位には、「市街地地域」と「中山間地域」で「神社・仏閣・史跡」が、「市街地周辺地域」、「犀南地域」、「松代・若穂」で「温泉」が入り、地域によって違いが見られる。

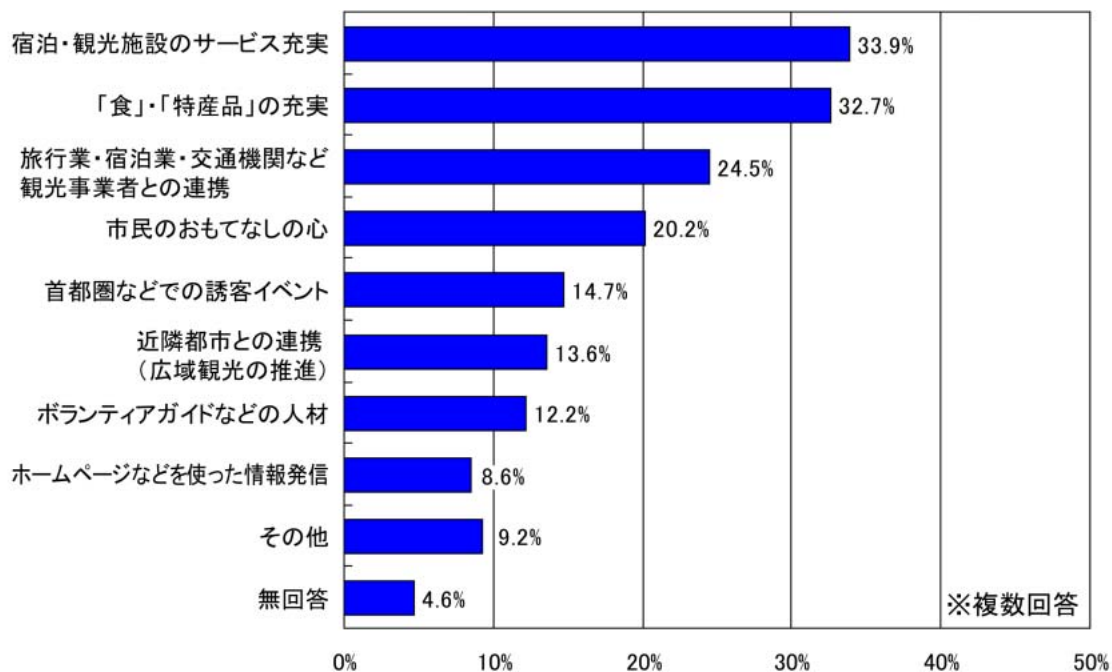
また、地域内にスキー場を有する「中山間地域」では、「スキー場」が5位に入っている。

本市の観光に求めるもの ～施設サービスと「食・特産品」の充実～

問9 あなたが今まで訪れた観光地と比べて、長野市の観光に足りないと感じるものは何ですか。次の中から2つ以内で選んで○をしてください。

			「食・特産品」の充実	宿泊・観光施設のサービス充実	ボランティアガイドなどの人材	市民のおもてなしの心	首都圏などでの誘客イベント	ホームページなどを使った情報発信	旅行者・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携	近隣都市との連携（広域観光の推進）	その他	無回答	対象
全体		度数	1,119	1,160	419	693	505	293	838	467	316	159	3,426
		割合	32.7%	33.9%	12.2%	20.2%	14.7%	8.6%	24.5%	13.6%	9.2%	4.6%	-
性別	男性	度数	539	529	184	287	245	132	390	252	153	49	1,556
	割合	34.6%	34.0%	11.8%	18.4%	15.7%	8.5%	25.1%	16.2%	9.8%	3.1%	-	
	女性	度数	576	630	233	403	258	161	446	215	162	107	1,858
	割合	31.0%	33.9%	12.5%	21.7%	13.9%	8.7%	24.0%	11.6%	8.7%	5.8%	-	
年代	20歳代	度数	96	108	25	43	53	47	80	29	38	3	303
		割合	31.7%	35.6%	8.3%	14.2%	17.5%	15.5%	26.4%	9.6%	12.5%	1.0%	-
	30歳代	度数	173	189	37	85	79	62	137	54	67	11	523
		割合	33.1%	36.1%	7.1%	16.3%	15.1%	11.9%	26.2%	10.3%	12.8%	2.1%	-
	40歳代	度数	201	224	61	112	83	54	156	70	53	20	596
		割合	33.7%	37.6%	10.2%	18.8%	13.9%	9.1%	26.2%	11.7%	8.9%	3.4%	-
	50歳代	度数	215	212	78	127	83	54	163	90	51	16	609
		割合	35.3%	34.8%	12.8%	20.9%	13.6%	8.9%	26.8%	14.8%	8.4%	2.6%	-
	60歳代	度数	280	247	123	195	120	43	192	122	64	37	798
		割合	35.1%	31.0%	15.4%	24.4%	15.0%	5.4%	24.1%	15.3%	8.0%	4.6%	-
	70歳以上	度数	152	179	95	131	84	31	108	100	42	72	589
		割合	25.8%	30.4%	16.1%	22.2%	14.3%	5.3%	18.3%	17.0%	7.1%	12.2%	-
地域区分	市街地地域	度数	412	417	151	247	177	97	292	159	120	47	1,221
		割合	33.7%	34.2%	12.4%	20.2%	14.5%	7.9%	23.9%	13.0%	9.8%	3.8%	-
	市街地周辺地域	度数	236	245	82	157	96	67	169	86	61	36	714
		割合	33.1%	34.3%	11.5%	22.0%	13.4%	9.4%	23.7%	12.0%	8.5%	5.0%	-
	犀南地域	度数	289	291	108	179	127	77	219	124	87	37	880
		割合	32.8%	33.1%	12.3%	20.3%	14.4%	8.8%	24.9%	14.1%	9.9%	4.2%	-
	松代・若穂	度数	89	96	30	50	50	17	69	40	21	16	270
		割合	33.0%	35.6%	11.1%	18.5%	18.5%	6.3%	25.6%	14.8%	7.8%	5.9%	-
	中山間地域	度数	86	100	44	55	49	32	78	51	20	20	309
		割合	27.8%	32.4%	14.2%	17.8%	15.9%	10.4%	25.2%	16.5%	6.5%	6.5%	-

長野市の観光に足りないと感じるものについて、最も多い回答は「宿泊・観光施設のサービス充実（33.9%）」であった。続いて「食・特産品の充実（32.7%）」、「旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携（24.5%）」となった。



【性別・年代別順位】上位5項目

順位	全体 (n=3,426)	男性 (n=1,556)	女性 (n=1,858)	20歳代 (n=303)	30歳代 (n=523)	40歳代 (n=596)	50歳代 (n=609)	60歳代 (n=798)	70歳以上 (n=589)
1	宿泊・観光施設のサービス充実 (33.9%)	「食」・「特産品」の充実 (34.6%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (33.9%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (35.6%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (36.1%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (37.6%)	「食」・「特産品」の充実 (35.3%)	「食」・「特産品」の充実 (35.1%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (30.4%)
2	「食」・「特産品」の充実 (32.7%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (34.0%)	「食」・「特産品」の充実 (31.0%)	「食」・「特産品」の充実 (31.7%)	「食」・「特産品」の充実 (33.1%)	「食」・「特産品」の充実 (33.7%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (34.8%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (31.0%)	「食」・「特産品」の充実 (25.8%)
3	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (24.5%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (25.1%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (24.0%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (26.4%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (26.2%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (26.2%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (26.8%)	市民のおもてなしの心 (24.4%)	市民のおもてなしの心 (22.2%)
4	市民のおもてなしの心 (20.2%)	市民のおもてなしの心 (18.4%)	市民のおもてなしの心 (21.7%)	首都圏などでの誘客イベント (17.5%)	市民のおもてなしの心 (16.3%)	市民のおもてなしの心 (18.8%)	市民のおもてなしの心 (20.9%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (24.1%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (18.3%)
5	首都圏などでの誘客イベント (14.7%)	近隣都市との連携(広域観光の推進) (16.2%)	首都圏などでの誘客イベント (13.9%)	ホームページなどを使った情報発信 (15.5%)	首都圏などでの誘客イベント (15.1%)	首都圏などでの誘客イベント (13.9%)	近隣都市との連携(広域観光の推進) (14.8%)	ボランティアガイドなどの人材 (15.4%)	近隣都市との連携(広域観光の推進) (17.0%)

男女別にみると、「男性」は「食・特産品の充実（34.6%）」が1位に、「宿泊・観光施設のサービス充実（34.0%）」が2位になった。「女性」は逆に、「宿泊・観光施設のサービス充実（33.9%）」が1位に、「食・特産品の充実（31.0%）」が2位になっている。

男女ともに3位は「旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携」が、4位は「市民のおもてなしの心」が入った。

5位には、「男性」は「近隣都市との連携（16.2%）」が、「女性」は「首都圏などでの誘客イベント（13.9%）」が入り、男女間での違いが見られた。

年代別にみると、「50歳代」と「60歳代」では「食・特産品の充実」がトップに、それ以外の年代では「宿泊・観光施設のサービス充実」がトップになった。

「市民のおもてなしの心」については、「60歳代」と「70歳以上」で3位に入っている。

「20歳代」では、「ホームページなどを使った情報発信（15.5%）」が5位に入っている。

「60歳代」では「ボランティアガイドなどの人材（15.4%）」が5位に入っている。

【地域別順位】上位5項目

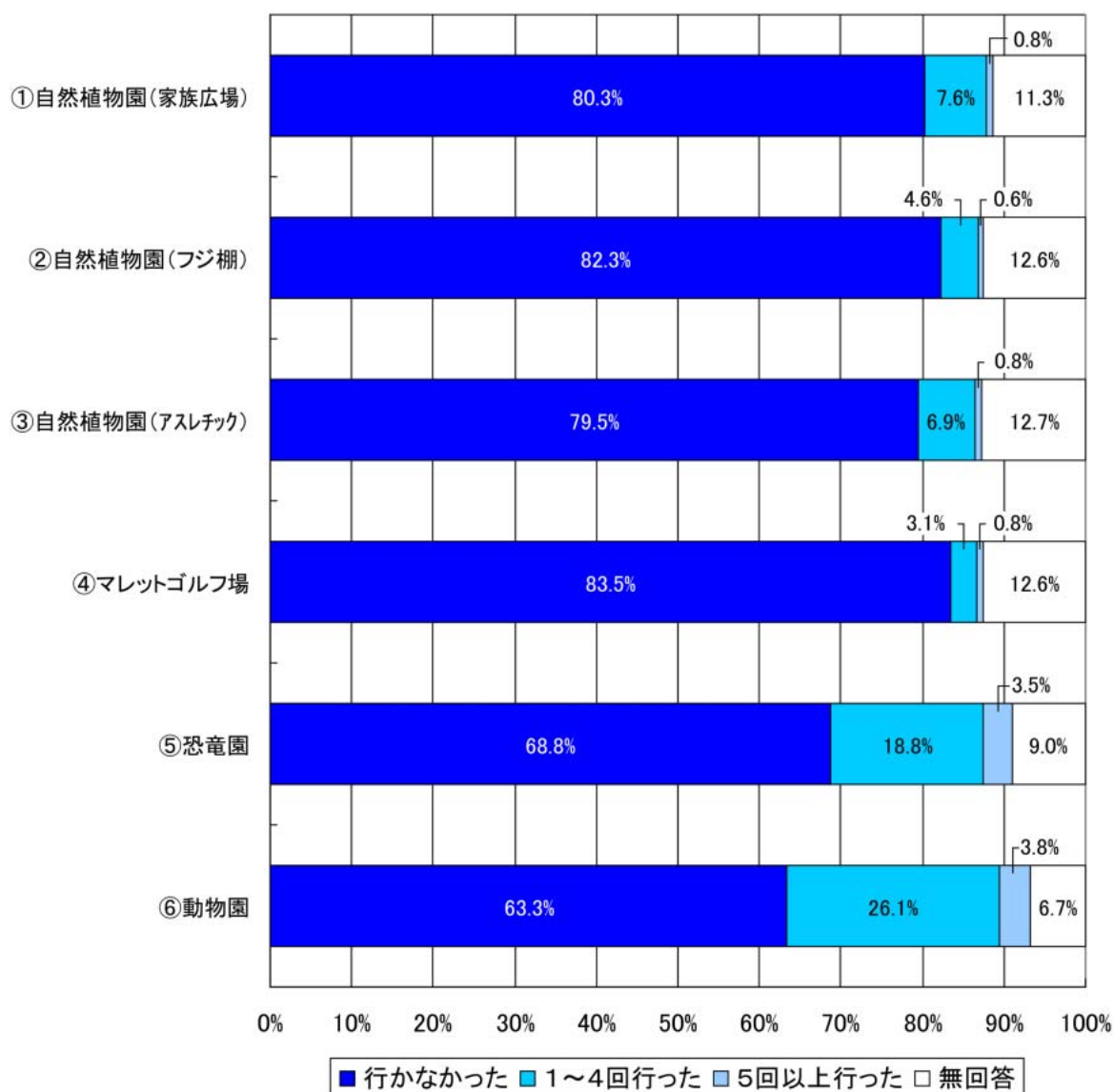
順位	全体 (n=3,426)	市街地地域 (n=1,221)	市街地周辺地域 (n=714)	犀南地域 (n=880)	松代・若穂 (n=270)	中山間地域 (n=309)
1	宿泊・観光施設のサービス充実 (33.9%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (34.2%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (34.3%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (33.1%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (35.6%)	宿泊・観光施設のサービス充実 (32.4%)
2	「食」・「特産品」の充実 (32.7%)	「食」・「特産品」の充実 (33.7%)	「食」・「特産品」の充実 (33.1%)	「食」・「特産品」の充実 (32.8%)	「食」・「特産品」の充実 (33.0%)	「食」・「特産品」の充実 (27.8%)
3	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (24.5%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (23.9%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (23.7%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (24.9%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (25.6%)	旅行業・宿泊業・交通機関など観光事業者との連携 (25.2%)
4	市民のおもてなしの心 (20.2%)	市民のおもてなしの心 (20.2%)	市民のおもてなしの心 (22.0%)	市民のおもてなしの心 (20.3%)	市民のおもてなしの心 (18.5%)	市民のおもてなしの心 (17.8%)
5	首都圏などでの誘客イベント (14.7%)	首都圏などでの誘客イベント (14.5%)	首都圏などでの誘客イベント (13.4%)	首都圏などでの誘客イベント (14.4%)	首都圏などでの誘客イベント (18.5%)	近隣都市との連携（広域観光の推進） (16.5%)

地域別では、どの地域もほぼ同様の傾向が見られるが、「中山間地域」では、「首都圏などでの誘客イベント」は6位となり、「近隣都市との連携」が5位に入っている。

茶臼山エリアの活性化について

茶臼山エリア施設の利用 ～動物園の利用が最多～

問 10 平成 21 年 12 月から平成 22 年 11 月までの 1 年間に、あなたは、次の茶臼山エリア（篠ノ井地区）の施設へ何回行きましたか。①から⑥の施設ごとに、行った回数を回答欄から 1 つだけ選んで番号に○をしてください。



茶臼山エリアの各施設のうち、利用が最も多かったのは「動物園」であった。動物園に「1～4回行った」という回答は 26.1%、「5回以上行った」という回答は 3.8%であり、合計すると回答者の約 3 割（29.9%）が、この 1 年間に動物園を利用したことが分かる。

一方、利用が最も少なかったのは「マレットゴルフ場」で、「1～4回行った」および「5回以上行った」という回答の合計は 3.9%であった。

【①自然植物園（家族広場）】

		行かなかった	1～4回行った	5回以上行った	無回答	合計	
全体	度数	2,751	259	28	388	3,426	
	割合	80.3%	7.6%	0.8%	11.3%	100.0%	
性別	男性	度数	1,270	121	13	152	1,556
		割合	81.6%	7.8%	0.8%	9.8%	100.0%
	女性	度数	1,474	136	15	233	1,858
		割合	79.3%	7.3%	0.8%	12.5%	100.0%
年代	20歳代	度数	273	18	0	12	303
		割合	90.1%	5.9%	0.0%	4.0%	100.0%
	30歳代	度数	464	29	3	27	523
		割合	88.7%	5.5%	0.6%	5.2%	100.0%
	40歳代	度数	512	49	7	28	596
		割合	85.9%	8.2%	1.2%	4.7%	100.0%
	50歳代	度数	532	29	5	43	609
		割合	87.4%	4.8%	0.8%	7.1%	100.0%
	60歳代	度数	594	81	5	118	798
		割合	74.4%	10.2%	0.6%	14.8%	100.0%
	70歳以上	度数	369	53	8	159	589
		割合	62.6%	9.0%	1.4%	27.0%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	1,037	59	5	120	1,221
		割合	84.9%	4.8%	0.4%	9.8%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	596	36	6	76	714
		割合	83.5%	5.0%	0.8%	10.6%	100.0%
	犀南地域	度数	648	118	13	101	880
		割合	73.6%	13.4%	1.5%	11.5%	100.0%
	松代・若穂	度数	212	17	3	38	270
		割合	78.5%	6.3%	1.1%	14.1%	100.0%
	中山間地域	度数	235	25	0	49	309
		割合	76.1%	8.1%	0.0%	15.9%	100.0%

自然植物園（家族広場）に「行かなかった」という回答は、全体で80.3%となった。

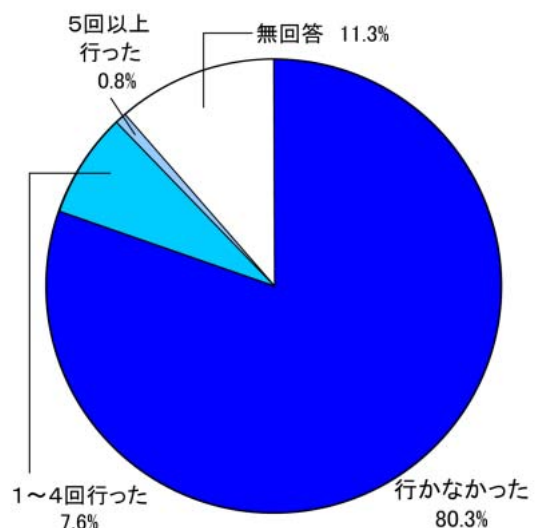
「1～4回行った」および「5回以上行った」という回答を合計した「行った」割合は、8.4%であり、1割に及ばなかった。

男女別では、「行かなかった」と回答した割合は「男性」が81.6%、「女性」が79.3%となった。

年代別でみると、「行かなかった」と回答した割合が最も高かったのは「20歳代(90.1%)」であり、9割を超えた。

一方、「1～4回行った」および「5回以上行った」という回答を合計した「行った」割合は、「60歳代(10.8%)」、続いて「70歳以上(10.4%)」が、ともに1割を超えた。

地域別では、「行った」と回答した割合が最も高かったのは「犀南地域(14.9%)」であり、「市街地地域(5.2%)」と比較すると、約10ポイントの開きがあった。



【②自然植物園（フジ棚）】

			行かなかった	1～4回行った	5回以上行った	無回答	合計
全体	度数		2,820	156	19	431	3,426
	割合		82.3%	4.6%	0.6%	12.6%	100.0%
性別	男性	度数	1,302	79	9	166	1,556
		割合	83.7%	5.1%	0.6%	10.7%	100.0%
	女性	度数	1,513	77	10	258	1,858
		割合	81.4%	4.1%	0.5%	13.9%	100.0%
年代	20歳代	度数	284	6	0	13	303
		割合	93.7%	2.0%	0.0%	4.3%	100.0%
	30歳代	度数	473	22	2	26	523
		割合	90.4%	4.2%	0.4%	5.0%	100.0%
	40歳代	度数	532	31	4	29	596
		割合	89.3%	5.2%	0.7%	4.9%	100.0%
	50歳代	度数	547	15	3	44	609
		割合	89.8%	2.5%	0.5%	7.2%	100.0%
	60歳代	度数	609	51	4	134	798
		割合	76.3%	6.4%	0.5%	16.8%	100.0%
	70歳以上	度数	368	31	6	184	589
		割合	62.5%	5.3%	1.0%	31.2%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	1,057	29	2	133	1,221
		割合	86.6%	2.4%	0.2%	10.9%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	604	25	3	82	714
		割合	84.6%	3.5%	0.4%	11.5%	100.0%
	犀南地域	度数	683	76	11	110	880
	割合	77.6%	8.6%	1.3%	12.5%	100.0%	
	松代・若穂	度数	213	11	3	43	270
		割合	78.9%	4.1%	1.1%	15.9%	100.0%
	中山間地域	度数	241	11	0	57	309
		割合	78.0%	3.6%	0.0%	18.4%	100.0%

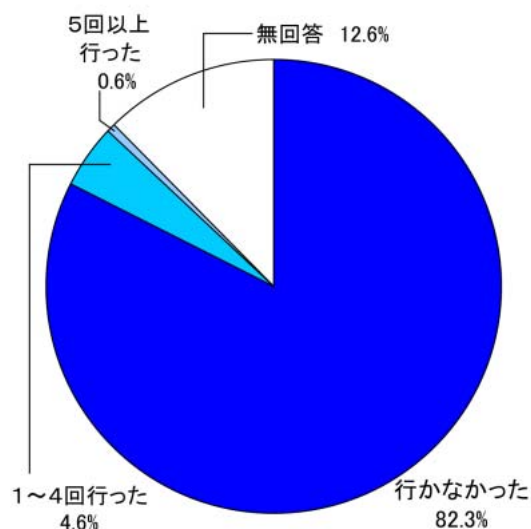
自然植物園（フジ棚）に「行かなかった」という回答は、全体で82.3%となった。

「1～4回行った」および「5回以上行った」という回答を合計した「行った」割合は、5.2%となり、1割に及ばなかった。

男女別では、「行かなかった」と回答した割合は「男性」が83.7%、「女性」が81.4%となった。

年代別でみると、「行かなかった」割合が最も高かったのは「20歳代(93.7%)」で、「30歳代(90.4%)」とともに9割を超えた。

地域別では、「行った」と回答した割合が最も高かったのは「犀南地域(9.9%)」であったが、1割には及ばなかった。



【③自然植物園（アスレチック）】

		行かなかった	1～4回行った	5回以上行った	無回答	合計	
全体		度数	2,725	237	29	435	3,426
		割合	79.5%	6.9%	0.8%	12.7%	100.0%
性別	男性	度数	1,261	118	13	164	1,556
		割合	81.0%	7.6%	0.8%	10.5%	100.0%
	女性	度数	1,459	119	16	264	1,858
		割合	78.5%	6.4%	0.9%	14.2%	100.0%
年代	20歳代	度数	269	19	3	12	303
		割合	88.8%	6.3%	1.0%	4.0%	100.0%
	30歳代	度数	441	47	7	28	523
		割合	84.3%	9.0%	1.3%	5.4%	100.0%
	40歳代	度数	500	64	6	26	596
		割合	83.9%	10.7%	1.0%	4.4%	100.0%
	50歳代	度数	537	23	4	45	609
		割合	88.2%	3.8%	0.7%	7.4%	100.0%
	60歳代	度数	600	63	4	131	798
		割合	75.2%	7.9%	0.5%	16.4%	100.0%
	70歳以上	度数	371	21	5	192	589
		割合	63.0%	3.6%	0.8%	32.6%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	1,028	59	3	131	1,221
		割合	84.2%	4.8%	0.2%	10.7%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	589	38	7	80	714
		割合	82.5%	5.3%	1.0%	11.2%	100.0%
	犀南地域	度数	643	105	14	118	880
		割合	73.1%	11.9%	1.6%	13.4%	100.0%
	松代・若穂	度数	210	13	4	43	270
		割合	77.8%	4.8%	1.5%	15.9%	100.0%
	中山間地域	度数	233	19	0	57	309
		割合	75.4%	6.1%	0.0%	18.4%	100.0%

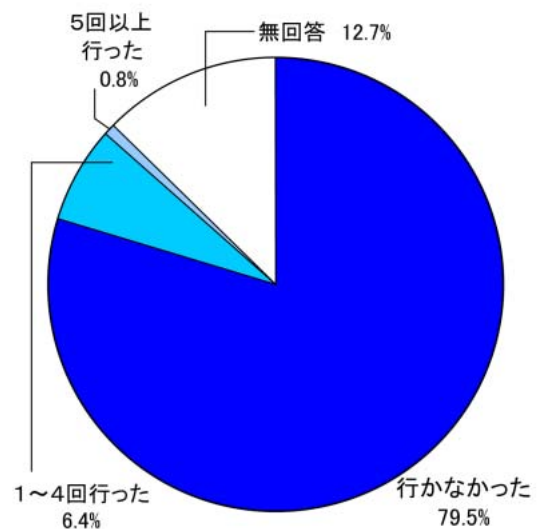
自然植物園（アスレチック）に「行かなかった」という回答は、全体で79.5%であった。一方で「1～4回行った」および「5回以上行った」という回答を合計した「行った」割合は、7.7%で、1割に及ばなかった。

男女別では、「行かなかった」と回答した割合は「男性」が81.0%、「女性」が78.5%となった。

年代別でみると、「行かなかった」と回答した割合が最も高かったのは「20歳代（88.8%）」、続いて「50歳代（88.2%）」となった。

一方、「1～4回行った」および「5回以上行った」という回答を合計した「行った」割合は、「40歳代（11.7%）」、続いて「30歳代（10.3%）」が、ともに1割を超えた。

地域別では、「行った」と回答した割合が最も高かったのは「犀南地域（13.5%）」であった。



【④マレットゴルフ場】

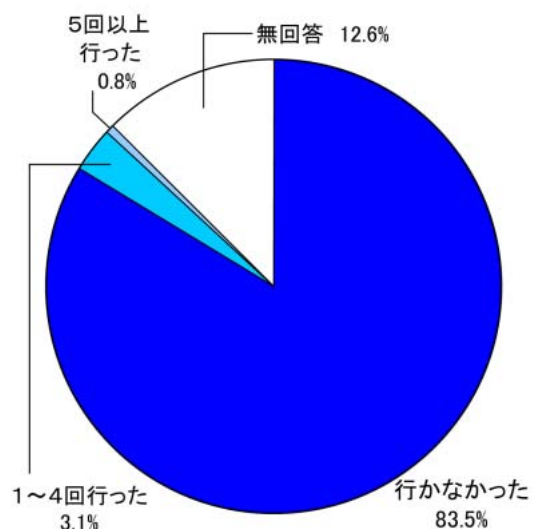
			行かなかった	1～4回行った	5回以上行った	無回答	合計
全体		度数	2,861	107	27	431	3,426
		割合	83.5%	3.1%	0.8%	12.6%	100.0%
性別	男性	度数	1,320	55	13	168	1,556
		割合	84.8%	3.5%	0.8%	10.8%	100.0%
	女性	度数	1,536	52	14	256	1,858
		割合	82.7%	2.8%	0.8%	13.8%	100.0%
年代	20歳代	度数	282	6	0	15	303
		割合	93.1%	2.0%	0.0%	5.0%	100.0%
	30歳代	度数	484	6	1	32	523
		割合	92.5%	1.1%	0.2%	6.1%	100.0%
	40歳代	度数	537	22	0	37	596
		割合	90.1%	3.7%	0.0%	6.2%	100.0%
	50歳代	度数	549	8	4	48	609
		割合	90.1%	1.3%	0.7%	7.9%	100.0%
	60歳代	度数	631	31	13	123	798
		割合	79.1%	3.9%	1.6%	15.4%	100.0%
	70歳以上	度数	371	34	9	175	589
		割合	63.0%	5.8%	1.5%	29.7%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	1,057	22	2	140	1,221
		割合	86.6%	1.8%	0.2%	11.5%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	616	9	0	89	714
		割合	86.3%	1.3%	0.0%	12.5%	100.0%
	犀南地域	度数	707	53	18	102	880
	割合	80.3%	6.0%	2.0%	11.6%	100.0%	
	松代・若穂	度数	216	11	4	39	270
		割合	80.0%	4.1%	1.5%	14.4%	100.0%
	中山間地域	度数	240	11	2	56	309
		割合	77.7%	3.6%	0.6%	18.1%	100.0%

茶臼山エリア6施設の中で、「行かなかった」という回答割合が最も高かったのは「マレットゴルフ場（83.5%）」であった。

男女別では、「行かなかった」と回答した割合は「男性」が84.8%、「女性」が82.7%となった。

年代別では、「70歳以上」の「行かなかった」という回答割合は他の年代に比べ最も低く（63.0%）、「行った」割合は他の年代に比べて最も高かった（7.3%）。

地域別では、「行った」と回答した割合が最も高かったのは「犀南地域（8.0%）」であったが、1割には及ばなかった。



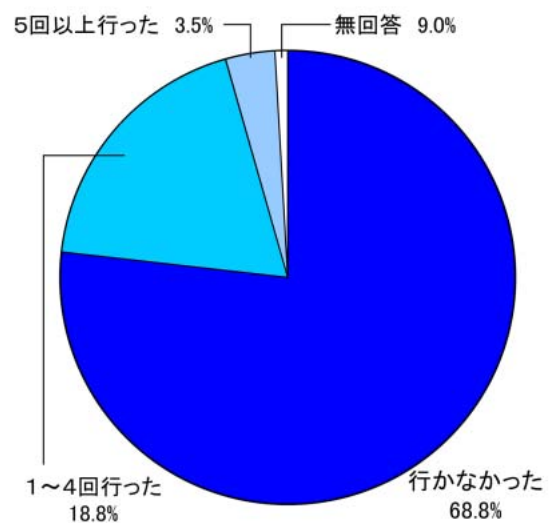
【⑤恐竜園】

		行かなかった	1～4回行った	5回以上行った	無回答	合計	
全体		度数	2,356	644	119	307	3,426
		割合	68.8%	18.8%	3.5%	9.0%	100.0%
性別	男性	度数	1,096	300	53	107	1,556
		割合	70.4%	19.3%	3.4%	6.9%	100.0%
	女性	度数	1,255	342	66	195	1,858
		割合	67.5%	18.4%	3.6%	10.5%	100.0%
年代	20歳代	度数	215	68	11	9	303
		割合	71.0%	22.4%	3.6%	3.0%	100.0%
	30歳代	度数	329	156	22	16	523
		割合	62.9%	29.8%	4.2%	3.1%	100.0%
	40歳代	度数	431	116	31	18	596
		割合	72.3%	19.5%	5.2%	3.0%	100.0%
	50歳代	度数	482	80	19	28	609
		割合	79.1%	13.1%	3.1%	4.6%	100.0%
	60歳代	度数	543	140	24	91	798
		割合	68.0%	17.5%	3.0%	11.4%	100.0%
	70歳以上	度数	349	84	12	144	589
		割合	59.3%	14.3%	2.0%	24.4%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	903	198	25	95	1,221
		割合	74.0%	16.2%	2.0%	7.8%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	514	121	23	56	714
		割合	72.0%	16.9%	3.2%	7.8%	100.0%
	犀南地域	度数	532	221	49	78	880
		割合	60.5%	25.1%	5.6%	8.9%	100.0%
	松代・若穂	度数	181	47	11	31	270
		割合	67.0%	17.4%	4.1%	11.5%	100.0%
	中山間地域	度数	208	51	7	43	309
		割合	67.3%	16.5%	2.3%	13.9%	100.0%

恐竜園については、「行った」割合が比較的高く、「1～4回行った」および「5回以上行った」という回答を合わせた割合は全体で22.3%に達した。

年代別でみると、「行った」割合が最も高かったのは「30歳代(34.0%)」で、最も低い「50歳代(16.2%)」と比べると17.8ポイントの開きがある。

地域別では、「行った」割合が最も高かったのは「犀南地域(30.7%)」であった。



【⑥動物園】

		行かなかった	1～4回行った	5回以上行った	無回答	合計	
全体	度数	2,170	895	130	231	3,426	
	割合	63.3%	26.1%	3.8%	6.7%	100.0%	
性別	男性	度数	1,008	406	60	82	1,556
		割合	64.8%	26.1%	3.9%	5.3%	100.0%
	女性	度数	1,157	487	70	144	1,858
		割合	62.3%	26.2%	3.8%	7.8%	100.0%
年代	20歳代	度数	190	91	18	4	303
		割合	62.7%	30.0%	5.9%	1.3%	100.0%
	30歳代	度数	278	211	22	12	523
		割合	53.2%	40.3%	4.2%	2.3%	100.0%
	40歳代	度数	386	160	35	15	596
		割合	64.8%	26.8%	5.9%	2.5%	100.0%
	50歳代	度数	468	108	11	22	609
		割合	76.8%	17.7%	1.8%	3.6%	100.0%
	60歳代	度数	508	207	26	57	798
		割合	63.7%	25.9%	3.3%	7.1%	100.0%
	70歳以上	度数	333	117	18	121	589
		割合	56.5%	19.9%	3.1%	20.5%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	812	315	34	60	1,221
		割合	66.5%	25.8%	2.8%	4.9%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	470	181	24	39	714
		割合	65.8%	25.4%	3.4%	5.5%	100.0%
	犀南地域	度数	502	262	48	68	880
		割合	57.0%	29.8%	5.5%	7.7%	100.0%
	松代・若穂	度数	170	62	12	26	270
		割合	63.0%	23.0%	4.4%	9.6%	100.0%
	中山間地域	度数	197	70	9	33	309
		割合	63.8%	22.7%	2.9%	10.7%	100.0%

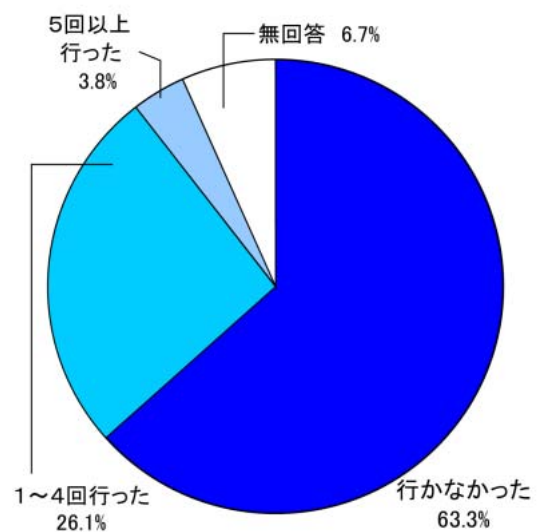
動物園は、茶臼山エリア6施設の中で最も利用が高かった施設であり、「1～4回行った」および「5回以上行った」という回答を合わせた「行った」割合は全体で29.9%に達した。

男女別にみると、「行った」割合は男女ともに30.0%となった。

年代別でみると、「行った」割合が最も高かったのは「30歳代(44.5%)」で、最も低い「50歳代(19.5%)」と比べると25.0ポイントの開きがある。

また、「5回以上行った」という回答は、「20歳代」と「40歳代」でともに5.9%となった。

地域別では、「行った」割合が最も高かったのは「犀南地域(35.3%)」であり、このうち「5回以上行った」という回答も他の地域より高く、5.5%となった。



茶臼山エリアの活性化 ～見所情報の提供と、エリア内に食堂を～

問 11 茶臼山エリアの魅力を向上させるために実施したらよいと思うものを、各グループからそれぞれ2つ選んで○をしてください。

【グループ1】施設運用の観点から

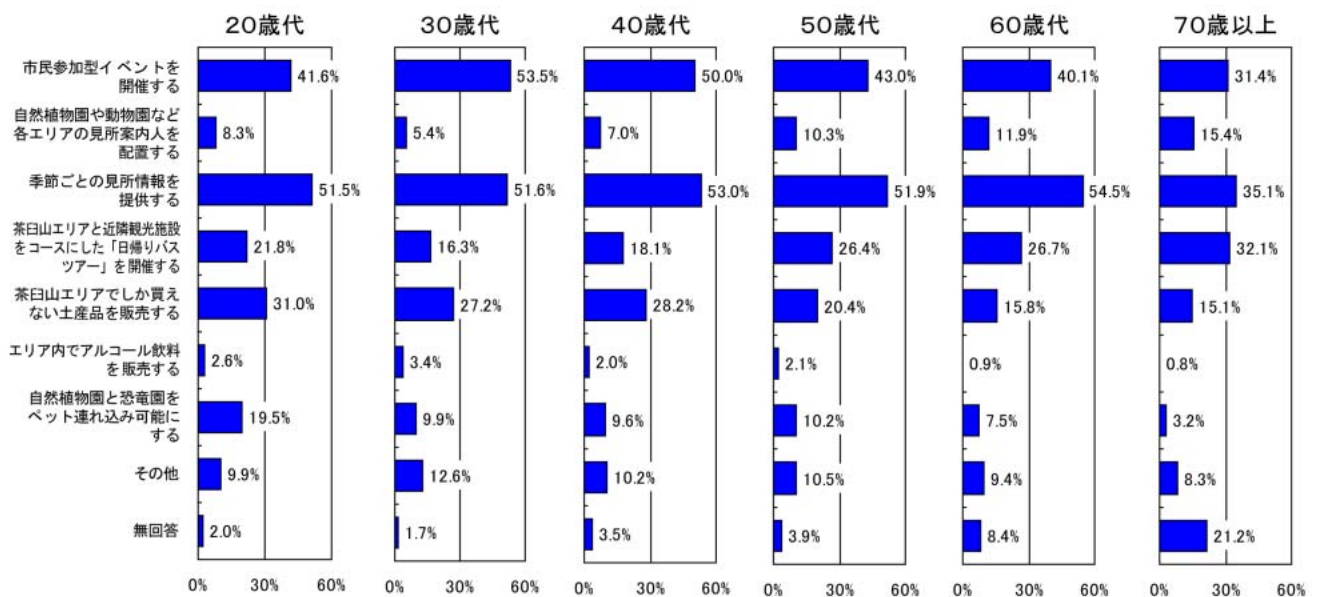
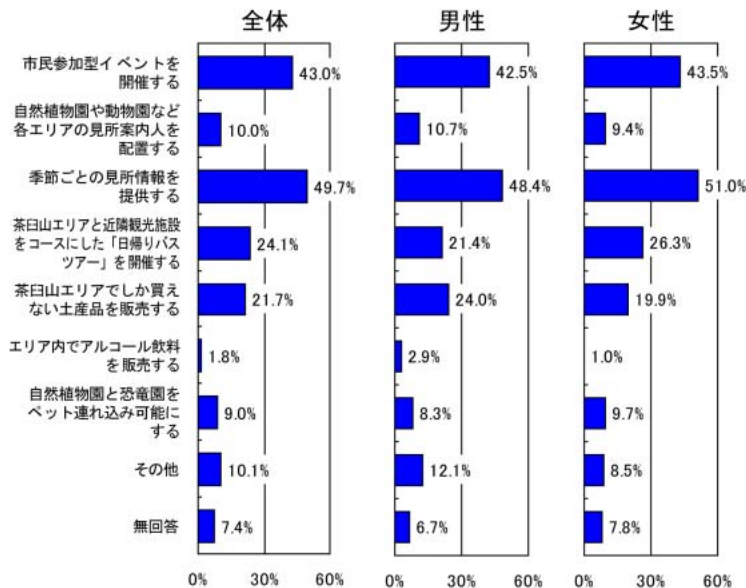
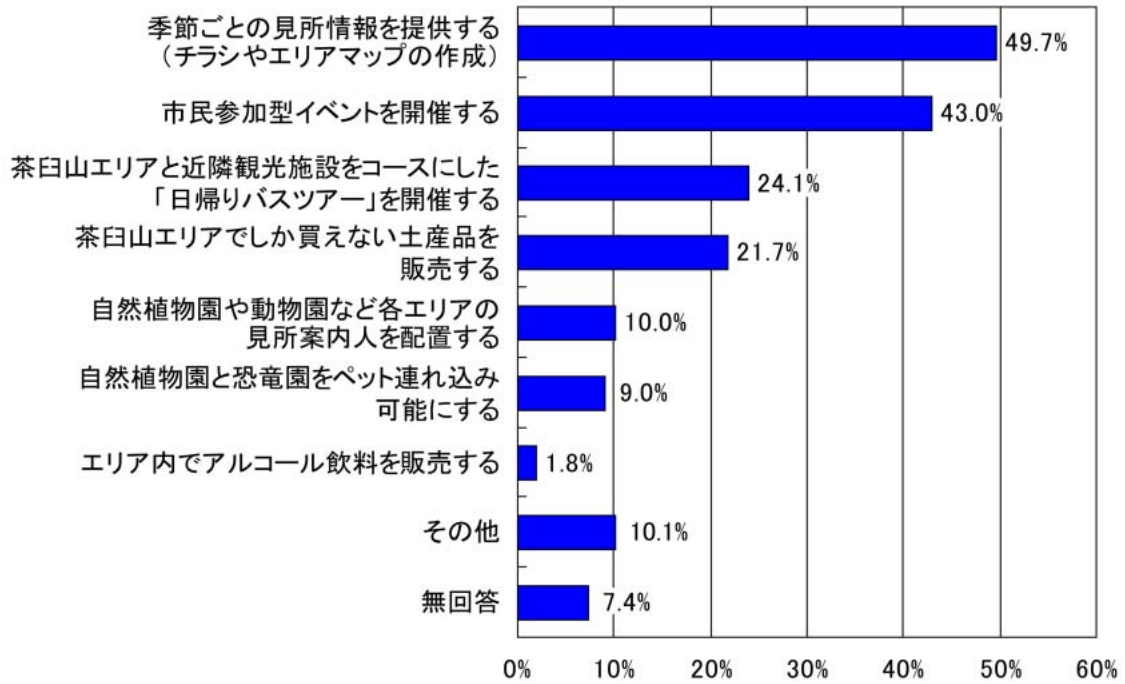
			市民参加型イベントを開催する	自然植物園や動物園など各エリアの見所案内人を配置する	季節ごとの見所情報を提供する	茶臼山エリアと近隣観光施設をコースにした「日帰りバスツアー」を開催する	茶臼山エリアでしか買えない土産品を販売する	エリア内でアルコール飲料を販売する	自然植物園と恐竜園をベクトル連れ込み可能にする	その他	無回答	対象
全体		度数	1,473	344	1,703	824	745	63	309	63	253	3,426
		割合	43.0%	10.0%	49.7%	24.1%	21.7%	1.8%	9.0%	10.1%	7.4%	-
性別	男性	度数	661	167	753	333	374	45	129	188	105	1,556
		割合	42.5%	10.7%	48.4%	21.4%	24.0%	2.9%	8.3%	12.1%	6.7%	-
	女性	度数	808	174	948	488	370	18	180	158	144	1,858
		割合	43.5%	9.4%	51.0%	26.3%	19.9%	1.0%	9.7%	8.5%	7.8%	-
年代	20歳代	度数	126	25	156	66	94	8	59	30	6	303
		割合	41.6%	8.3%	51.5%	21.8%	31.0%	2.6%	19.5%	9.9%	2.0%	-
	30歳代	度数	280	28	270	85	142	18	52	66	9	523
		割合	53.5%	5.4%	51.6%	16.3%	27.2%	3.4%	9.9%	12.6%	1.7%	-
	40歳代	度数	298	42	316	108	168	12	57	61	21	596
		割合	50.0%	7.0%	53.0%	18.1%	28.2%	2.0%	9.6%	10.2%	3.5%	-
	50歳代	度数	262	63	316	161	124	13	62	64	24	609
		割合	43.0%	10.3%	51.9%	26.4%	20.4%	2.1%	10.2%	10.5%	3.9%	-
	60歳代	度数	320	95	435	213	126	7	60	75	67	798
		割合	40.1%	11.9%	54.5%	26.7%	15.8%	0.9%	7.5%	9.4%	8.4%	-
	70歳以上	度数	185	91	207	189	89	5	19	49	125	589
		割合	31.4%	15.4%	35.1%	32.1%	15.1%	0.8%	3.2%	8.3%	21.2%	-
地域区分	市街地地域	度数	514	102	610	295	250	23	108	148	93	1,221
		割合	42.1%	8.4%	50.0%	24.2%	20.5%	1.9%	8.8%	12.1%	7.6%	-
	市街地周辺地域	度数	296	79	339	160	158	16	70	74	57	714
		割合	41.5%	11.1%	47.5%	22.4%	22.1%	2.2%	9.8%	10.4%	8.0%	-
	犀南地域	度数	400	99	456	205	209	17	96	81	37	880
		割合	45.5%	11.3%	51.8%	23.3%	23.8%	1.9%	10.9%	9.2%	4.2%	-
	松代・若穂	度数	124	25	129	78	55	4	16	23	25	270
		割合	45.9%	9.3%	47.8%	28.9%	20.4%	1.5%	5.9%	8.5%	9.3%	-
	中山間地域	度数	125	37	154	76	66	2	17	18	38	309
		割合	40.5%	12.0%	49.8%	24.6%	21.4%	0.6%	5.5%	5.8%	12.3%	-

茶臼山エリアの魅力を向上させるため、施設運用の観点から実施したらよいと思うことについて、最も多い回答は「季節ごとの見所情報を提供する（49.7%）」であった。「市民参加型イベントを開催する（43.0%）」がこれに続き、上記2つの回答が他の回答を大きく上回る結果となった。

男女別にみると、回答の傾向に大きな違いはないが、「日帰りバスツアーを開催する」という回答は、「男性（21.4%）」より「女性（26.3%）」の回答割合がやや高い。

年代別でみると、「季節ごとの見所情報を提供する」と「市民参加型イベントを開催する」という回答割合は、「20歳代」から「60歳代」までは4割から5割に達しているが、「70歳以上」では3割台に留まっている。

一方、「日帰りバスツアーを開催する」という回答については、「70歳以上」だけが3割を超えている。



【グループ2】施設整備の観点から

			動物園をリニューアルする	自然植物園・恐竜公園をリニューアルする	駐車場を広くする	篠ノ井駅からシャトルバスを運行する	エリア内の各施設を結ぶ園内交通を整備する	エリア内に食堂を設置する	大型遊具を設置する	夜景の見える展望台を設置する	その他	無回答	対象
全体		度数	763	539	470	601	807	897	648	756	320	298	3,426
		割合	22.3%	15.7%	13.7%	17.5%	23.6%	26.2%	18.9%	22.1%	9.3%	8.7%	-
性別	男性	度数	378	256	215	228	315	412	310	366	161	133	1,556
		割合	24.3%	16.5%	13.8%	14.7%	20.2%	26.5%	19.9%	23.5%	10.3%	8.5%	-
	女性	度数	384	282	253	370	491	481	338	387	159	162	1,858
		割合	20.7%	15.2%	13.6%	19.9%	26.4%	25.9%	18.2%	20.8%	8.6%	8.7%	-
年代	20歳代	度数	96	45	31	50	59	83	78	108	19	9	303
		割合	31.7%	14.9%	10.2%	16.5%	19.5%	27.4%	25.7%	35.6%	6.3%	3.0%	-
	30歳代	度数	149	117	41	70	131	150	136	125	62	13	523
		割合	28.5%	22.4%	7.8%	13.4%	25.0%	28.7%	26.0%	23.9%	11.9%	2.5%	-
	40歳代	度数	141	94	70	92	150	151	159	157	64	19	596
		割合	23.7%	15.8%	11.7%	15.4%	25.2%	25.3%	26.7%	26.3%	10.7%	3.2%	-
50歳代	度数	120	95	92	98	150	191	104	149	53	40	609	
	割合	19.7%	15.6%	15.1%	16.1%	24.6%	31.4%	17.1%	24.5%	8.7%	6.6%	-	
60歳代	度数	152	126	160	140	187	199	118	153	75	82	798	
	割合	19.0%	15.8%	20.1%	17.5%	23.4%	24.9%	14.8%	19.2%	9.4%	10.3%	-	
70歳以上	度数	105	62	74	150	130	122	51	62	46	134	589	
	割合	17.8%	10.5%	12.6%	25.5%	22.1%	20.7%	8.7%	10.5%	7.8%	22.8%	-	
地域区分	市街地地域	度数	297	200	159	210	283	296	213	246	144	109	1,221
		割合	24.3%	16.4%	13.0%	17.2%	23.2%	24.2%	17.4%	20.1%	11.8%	8.9%	-
	市街地周辺地域	度数	147	100	109	103	173	196	149	145	60	73	714
		割合	20.6%	14.0%	15.3%	14.4%	24.2%	27.5%	20.9%	20.3%	8.4%	10.2%	-
	犀南地域	度数	185	143	106	171	215	241	188	252	76	44	880
割合		21.0%	16.3%	12.0%	19.4%	24.4%	27.4%	21.4%	28.6%	8.6%	5.0%	-	
松代・若穂	度数	61	43	41	53	61	76	52	49	22	25	270	
	割合	22.6%	15.9%	15.2%	19.6%	22.6%	28.1%	19.3%	18.1%	8.1%	9.3%	-	
中山間地域	度数	63	51	50	57	69	79	42	57	17	45	309	
	割合	20.4%	16.5%	16.2%	18.4%	22.3%	25.6%	13.6%	18.4%	5.5%	14.6%	-	

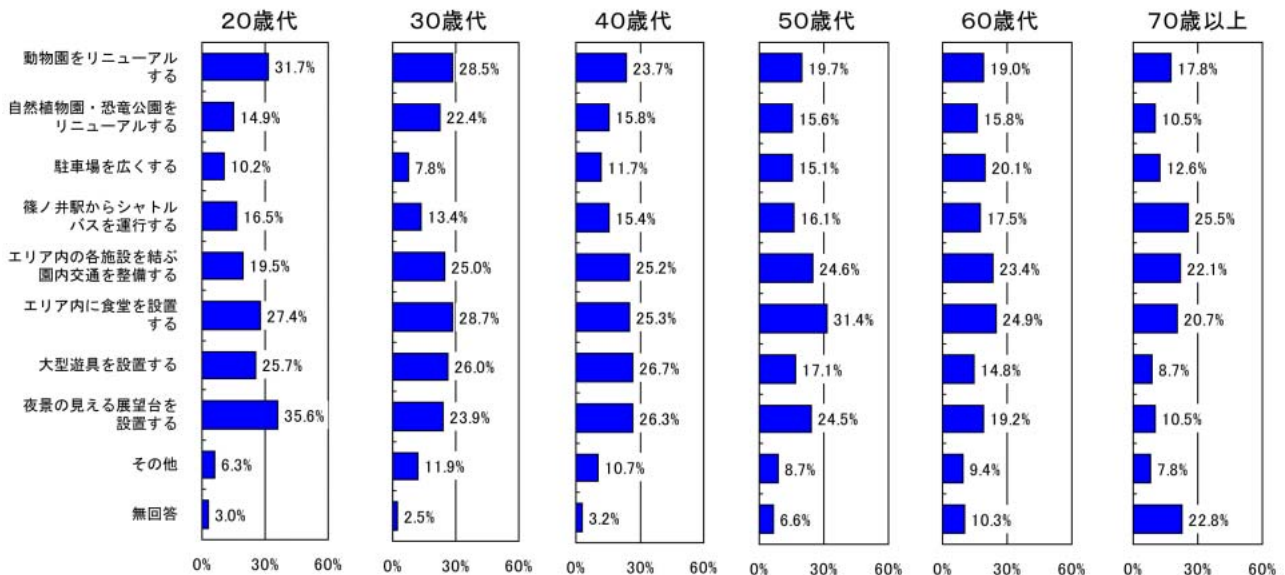
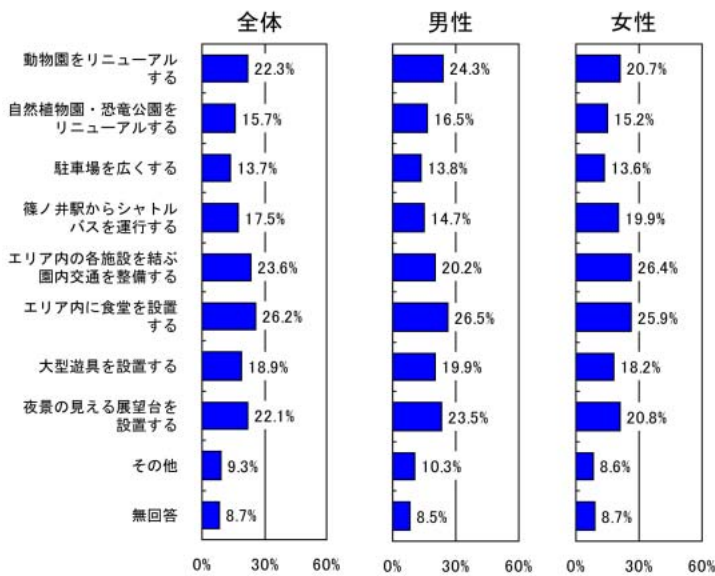
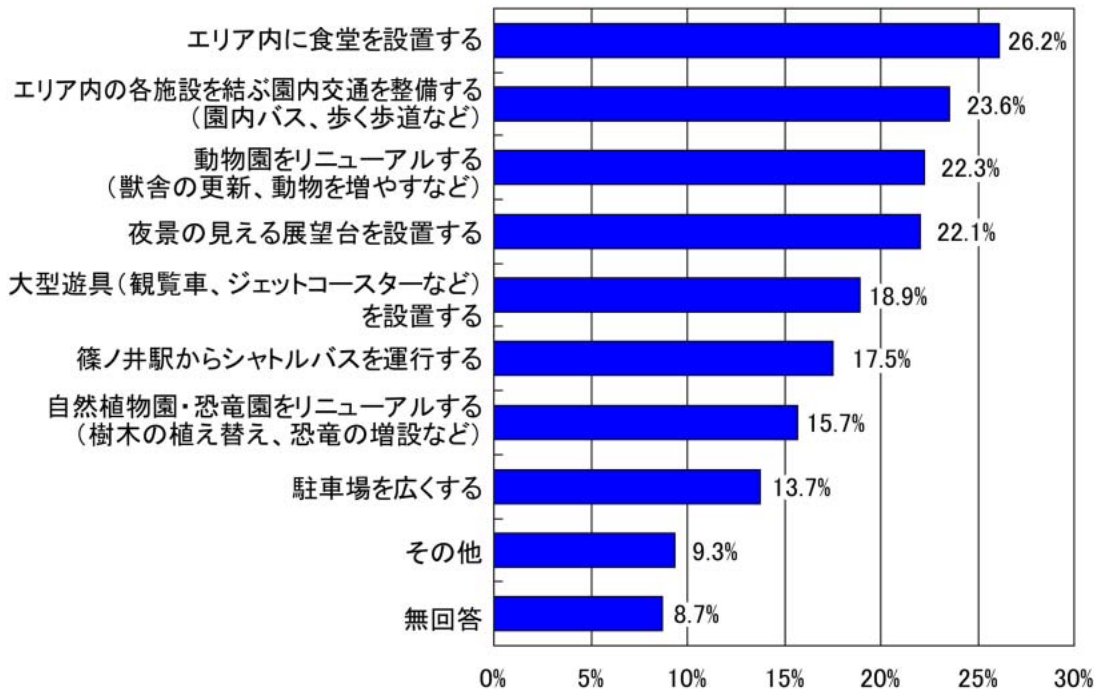
施設整備の観点から実施したらよいと思うことについては、回答が特定のものに集中せず、比較的分散した結果となった。最も多い回答は「エリア内に食堂を設置する（26.2%）」であるが、「その他」と「無回答」を除き、回答割合が最も少なかった「駐車場を広くする（13.7%）」との差は、わずか12.5ポイントである。

男女別でみると、「男性」で最も回答割合が高かった項目は「エリア内に食堂を設置する（26.5%）」であり、「動物園をリニューアルする（24.3%）」が続いている。

「女性」は、「園内交通を整備する（26.4%）」がトップで、「エリア内に食堂を設置する（25.9%）」が続いている。

年代別では、回答の傾向に違いが見られる。最も回答割合が高い項目は、「30歳代」、「50歳代」および「60歳代」で「エリア内に食堂を設置する」であったが、「20歳代」では「夜景の見える展望台を設置する（35.6%）」、「40歳代」では「大型遊具を設置する（26.7%）」、「70歳以上」では「篠ノ井駅からシャトルバスを運行する（25.5%）」となっている。

また、「動物園をリニューアルする」については、年代が高くなるに従って、回答割合が低くなる傾向を示している。



生涯学習について

学びたいこと ～「家庭生活」、「健康づくり・スポーツ」など～

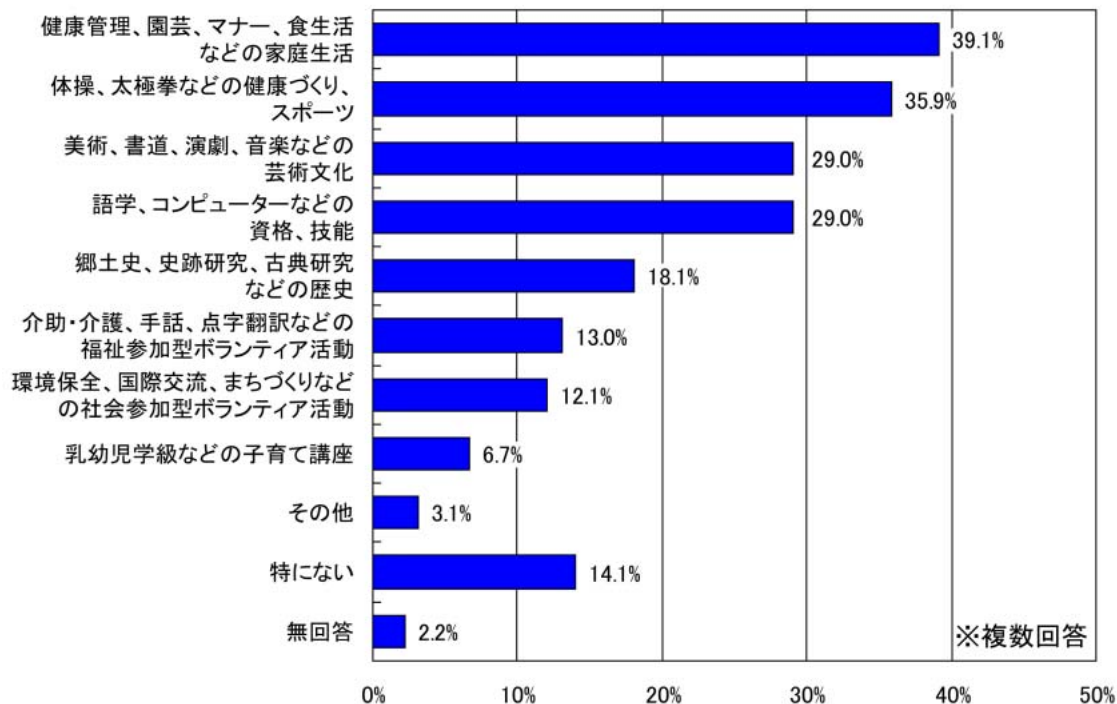
問 12 あなたが現在学んでいることや、今後学びたいことは何ですか。次の中から当てはまるものすべてに○をしてください。

			乳幼児学級などの子育て講座	歴史 郷土史、史跡研究、古典研究などの	語学、 コンピューターなどの資格、 技能	体操、 太極拳などの健康づくり、 スポーツ	健康管理、 園芸、マナー、 食生活などの 家庭生活	美術、 書道、 演劇、 音楽などの 芸術文化	介助・ 介護、 手話、 点字翻訳などの 福祉参加型 ボランティア活動	環境保全、 国際交流、 まちづくりな どの社会参加型 ボランティア活動	その他	特 に な い	無 回 答	対 象
全体		度数	229	619	995	1,229	1,339	995	447	413	107	482	75	3,426
		割合	6.7%	18.1%	29.0%	35.9%	39.1%	29.0%	13.0%	12.1%	3.1%	14.1%	2.2%	-
性別	男性	度数	54	396	468	440	520	355	139	206	51	264	32	1,556
		割合	3.5%	25.4%	30.1%	28.3%	33.4%	22.8%	8.9%	13.2%	3.3%	17.0%	2.1%	-
	女性	度数	174	221	525	785	816	639	308	207	56	215	40	1,858
		割合	9.4%	11.9%	28.3%	42.2%	43.9%	34.4%	16.6%	11.1%	3.0%	11.6%	2.2%	-
年代	20歳代	度数	68	38	139	94	74	88	36	36	10	37	3	303
		割合	22.4%	12.5%	45.9%	31.0%	24.4%	29.0%	11.9%	11.9%	3.3%	12.2%	1.0%	-
	30歳代	度数	99	55	220	189	154	129	65	57	12	74	4	523
		割合	18.9%	10.5%	42.1%	36.1%	29.4%	24.7%	12.4%	10.9%	2.3%	14.1%	0.8%	-
	40歳代	度数	28	82	237	253	187	185	98	68	21	80	5	596
		割合	4.7%	13.8%	39.8%	42.4%	31.4%	31.0%	16.4%	11.4%	3.5%	13.4%	0.8%	-
	50歳代	度数	10	124	190	232	266	197	100	96	14	70	3	609
		割合	1.6%	20.4%	31.2%	38.1%	43.7%	32.3%	16.4%	15.8%	2.3%	11.5%	0.5%	-
	60歳代	度数	13	163	144	312	391	240	88	94	30	107	20	798
		割合	1.6%	20.4%	18.0%	39.1%	49.0%	30.1%	11.0%	11.8%	3.8%	13.4%	2.5%	-
	70歳以上	度数	10	156	63	148	267	154	59	62	19	111	40	589
		割合	1.7%	26.5%	10.7%	25.1%	45.3%	26.1%	10.0%	10.5%	3.2%	18.8%	6.8%	-
地域区分	市街地地域	度数	97	215	367	450	441	368	152	146	36	174	31	1,221
		割合	7.9%	17.6%	30.1%	36.9%	36.1%	30.1%	12.4%	12.0%	2.9%	14.3%	2.5%	-
	市街地周辺地域	度数	40	120	213	257	295	212	96	74	23	89	14	714
		割合	5.6%	16.8%	29.8%	36.0%	41.3%	29.7%	13.4%	10.4%	3.2%	12.5%	2.0%	-
	犀南地域	度数	60	156	253	314	359	247	111	115	26	122	13	880
		割合	6.8%	17.7%	28.8%	35.7%	40.8%	28.1%	12.6%	13.1%	3.0%	13.9%	1.5%	-
	松代・若穂	度数	11	56	75	102	115	73	42	31	10	37	4	270
		割合	4.1%	20.7%	27.8%	37.8%	42.6%	27.0%	15.6%	11.5%	3.7%	13.7%	1.5%	-
	中山間地域	度数	16	66	77	92	117	84	44	43	10	55	11	309
		割合	5.2%	21.4%	24.9%	29.8%	37.9%	27.2%	14.2%	13.9%	3.2%	17.8%	3.6%	-

現在学んでいることや今後学びたいことについては、「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活（39.1%）」、「体操・太極拳などの健康づくり、スポーツ（35.9%）」の順となった。

また、「美術、書道、演劇、音楽などの芸術文化（29.0%）」や「語学・コンピューターなどの資格、技能（29.0%）」への学習意欲も感じられる。

一方、現在学んでいることや今後学びたいことが「特にない」という回答も14.1%に達している。



男女別にみると、「郷土史、史跡研究、古典研究などの歴史」については、「女性（11.9%）」よりも「男性（25.4%）」の回答の方が13.5ポイント上回っている。

一方、「男性」の回答を「女性」が大きく上回っているものとしては、「体操・太極拳などの健康づくり、スポーツ」、「美術、書道、演劇、音楽などの芸術文化」、「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」であり、これらの回答は「男性」と10ポイント以上の差がついている。

なお、「特にない」という回答は、「女性（11.6%）」より「男性（17.0%）」の方が多い。

年代別でみると、「語学・コンピューターなどの資格、技能」は年代が低くなるに従って回答割合は高くなっている。

「乳幼児学級などの子育て講座」については、「20歳代」と「30歳代」で2割程度の回答が見られるが、それ以外の年代では5%未満となっている。

「郷土史、史跡研究、古典研究などの歴史」については、「40歳代」以下が10%台の回答であるのに対し、「50歳代」以上では20%以上の回答を得ており、「70歳以上」では26.5%に達している。

各年代で最も回答が多かったものは、「20歳代」と「30歳代」では「語学・コンピューターなどの資格、技能」が、「40歳代」では「体操・太極拳などの健康づくり、スポーツ」が、「50歳代」以上では「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」となっている。

地域別では、「市街地地域」では「体操・太極拳などの健康づくり、スポーツ」が最も回答が多く、それ以外の地域では「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」が最も多い回答となった。

